

技術解説書2.1.0版変更項目

技術解説書2.1.0版変更項目				技術解説書の該当箇所	
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ
1	傷病名の登録基準の見直し	本サービスに登録する傷病名は、医療機関の電子カルテ内で管理している病名リストに記載されている傷病名を、原則としてすべて登録する方針とする。他医療機関等へは、本サービスに登録したすべての傷病名を共有し、患者への共有対象となる傷病名は、医師等が患者が誤解なく情報を受け取れると判断した傷病名とする。一方で、医師の判断のもと、他医療機関等にも患者にも共有しないこととなった傷病名は、本サービスへ登録しないように運用とする。	あり	p2	1. 傷病名における登録基準の見直し 本サービスに登録する傷病名は、医療機関の電子カルテ内で管理している病名リストに記載されている傷病名を、原則としてすべて登録する方針とした。他医療機関等へは、本サービスに登録したすべての傷病名を共有し、患者への共有対象となる傷病名は、医師の判断で選択します。一方で、医師の判断のもと、他医療機関等にも患者にも共有しないこととなった傷病名は、本サービスへ登録しないでください。
1	-	-	あり	p74	本サービスへ登録された臨床情報は、患者本人がマイナポータル上で閲覧可能となります。傷病名・感染症情報は、患者が認識していない情報をマイナポータル上で閲覧した場合に混乱を招く可能性があるため、以下のフラグ設定に留意のうえ、必ず医師等の判断を経たうえで登録してください。 ● 傷病名 医師等が患者に対して十分に説明していない情報がマイナポータル上で閲覧可能となるおそれがあるため、患者の不安や誤解を招く恐れがある傷病名を他医療機関等へのみ共有する場合は、未告知フラグを設定してください。
1	-	-	あり	p82	■ 傷病名の取扱いについて (1) 本サービスに登録する傷病名について 本サービスに登録する傷病名は、医療機関の電子カルテ内で管理している病名リストに記載されている傷病名を原則として全て登録してください。登録された傷病名は、患者が閲覧の同意を与えた他医療機関等へ共有されます。 一方で、患者に共有する傷病名については、電子カルテ内で管理している病名リストの情報を自動的に共有した場合、医師等が患者に対して十分に説明していない情報がマイナポータル上で閲覧可能となるおそれがあります。このため、患者への共有は自動では行わず、医師等が、患者が誤解なく情報を受け取れると判断した傷病名を共有する方式とします。例えば、「患者共有ボタン」を設け、それを押された傷病名のみを患者へ共有可能となるような実装が考えられます。具体的には本項の「(2) 未告知フラグの付与について」を合わせて確認ください。 なお、医師の判断のもと、他医療機関等へ共有しないこととなった傷病名は、本サービスに登録しない実装としてください。他医療機関等へ共有しない傷病名は、傷病名の登録時に医師が1件ずつ共有可否の判断を行うのではなく、管理者が特定の診療科や特定の傷病名のみを共有対象外として設定できる実装とすることで、医師による登録作業を容易にできます。また、他医療機関等へ共有しない傷病名は、患者へも共有されないことにご留意ください。
1	-	-	あり	p82	(2) 未告知フラグの付与について 患者に共有する傷病名については、電子カルテ内で管理している病名リストから自動的に共有すると、医師等が患者に対して十分に説明していない情報がマイナポータル上で閲覧可能となるおそれがあります。そのため、患者に共有する傷病名は病名リストから自動的に共有せず、医師等が、患者が誤解なく情報を受け取れると判断した傷病名を個別できる運用としてください。 未告知フラグの具体的な実装内容や電子カルテ上の画面イメージについては、「6.2 各機能の説明」の「機能5：未告知フラグ、患者共有フラグ、長期保存フラグの付与」を参照ください。
1	-	-	あり	p82	(3) 未提供フラグの付与について 本サービスでは、医療機関の電子カルテ内で管理している病名リストに記載されている傷病名を原則として全て登録する方針としていますが、もし、他医療機関等にも患者にも共有しないことが適切であると医師が判断・個別できるような仕様を設けたい場合は、当該傷病名は本サービスに登録しない仕組みとしてください。 他医療機関等へ共有しない傷病名の登録方針(未提供フラグの取扱い)については、「6.2 各機能の説明」の「機能5：未告知フラグ、患者共有フラグ、長期保存フラグの付与」を参照ください。
1	-	-	あり	p125	■ 未告知フラグの取扱いについて 本サービスにおいて、未告知フラグは傷病名にのみ設定することができます。 患者に共有する傷病名については、電子カルテ内で管理している病名リストから自動的に共有すると、医師等が患者に対して十分に説明していない情報がマイナポータルにて表示されることで、患者に誤解を与える可能性があります。そのため、患者へ共有する傷病名は、患者が誤解なく情報を受け取れることを医師等が判断した傷病名とします。 その際、患者への共有が必要な傷病名については未告知フラグを設定せず、患者へ共有しない傷病名は未告知フラグを設定してください。未告知フラグを設定して登録する場合は、Condition リソースの meta.tag 要素を“UNINFORMED”に設定してください。 例えば、医師等が「患者共有ボタン」を押下すること等の実装をすることで、患者へ共有する傷病名を選択できるようにしてください。その際、医師等が患者へ共有すると選択した傷病名は該当の Condition リソースに「未告知フラグ」を設定せず、患者へ共有しない傷病名は該当の Condition リソースに「未告知フラグ」を設定してください。 なお、未告知フラグが付与された傷病名については、全国の医療機関等が取得・閲覧する際、傷病名に併せて未告知である旨を表示します。 一方で、患者本人がマイナポータルで閲覧する場合には、未告知フラグが付与された傷病名は、表示されない(未告知傷病名が存在すること自体も表示しない)ように制御を行います。 また、未告知フラグのデフォルト設定については、全ての傷病名に対して未告知フラグを設定しない運用、全ての傷病名に対して未告知フラグを設定する運用、主傷病名のみ未告知フラグを設定しない運用等、各医療機関の運用に応じて決めてください。ただし、当該デフォルト設定は医療機関における運用上の便宜のために設けるものであり、必要に応じて医師等が個別に判断し、未告知フラグの設定を変更できるようにしてください。
1	-	-	あり	p126	■ 【参考】未提供フラグの取扱いについて 本サービスに登録する傷病名は、医療機関の電子カルテ内で管理している病名リストに記載されている傷病名を原則として全て登録する仕様としますが、もし、他医療機関等にも患者にも共有しないことが適切であると医師が判断・個別できるような仕様を設けたい場合は、当該傷病名は本サービスに登録しない仕組みとしてください。 なお、Condition リソースの meta.tag 要素には“UNDELIVERED”として未提供フラグを設定できる仕様がありますが当該仕様は本サービスに原則利用しないでください。すなわち、Condition.meta.tag 要素に“UNDELIVERED”を設定した Condition リソースを本サービスに原則登録しないでください。 なお、病名リストに記載されている傷病名は全て登録する仕様とすることが原則であることから、上記のような仕様を設けたい場合は、電子カルテ画面上のデフォルト設定では、傷病名が他医療機関等へ共有されるような設定としてください。 ※本書 2.0.0 版には、未提供フラグを設定することで他医療機関等にも患者にも共有しない傷病名を本サービスに登録することが可能であるとしていましたが、今後は他医療機関等および患者に共有しない傷病名は本サービスに登録しないでください。なお、既に本サービスに登録済みであり、未提供フラグを設定した傷病名については、今後も他医療機関等へ患者へ共有されません。

技術解説書2.1.0版変更項目				技術解説書の該当箇所																																																					
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ																																																				
1	-	-	あり	p127	<p>■ 各種フラグの運用における実装上の留意事項</p> <p>未告知フラグ・患者共有フラグ・長期保存フラグは、他医療機関等および患者に対する閲覧情報の制御を行うためのフラグであるため、各フラグに対応する電子カルテ等画面上のボタンの誤操作によって想定外の情報が連携されないようにする必要があります。医療従事者が医療機関を異動した場合等においても、各種ボタンの名称をなるべく認識することなく利用できるよう、下図で示した名称で実装するなど配慮してください。</p> <p>また、各種ボタンの意味が医療従事者も分かるようにインフォメーションアイコン等で説明を記載できるようにすることも推奨します。</p>																																																				
2	傷病名登録タイミング	傷病名の登録タイミングについて、本サービスへ登録する際に用いる病名リストを登録・更新したタイミングに登録する。	あり	p74	<p>■ 臨床情報の登録タイミングおよび留意事項</p> <p>臨床情報の具体的な登録タイミングは、医療機関の規模や診療特性を踏まえて各医療機関の判断に委ねるものとします。外来診療における登録タイミングの目安は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 傷病名：本サービスへ登録する際に用いる病名リストを登録・更新したタイミング ● 薬剤アレルギー等：その他アレルギー等：本サービスへ登録する際に用いるアレルギー等の入力欄に情報を登録・更新したタイミング ● 検査、感染症：本サービスへ登録する検査結果を電子カルテに登録した、または、検査結果が検査システム等から電子カルテに連携されたタイミング <p>なお、上記のタイミングでの即時登録に限らず、夜間にまとめて登録いただくことも可能ですが、受診日当日における他医療機関や薬局で臨床情報を閲覧するケースを踏まえ、臨床情報の登録はリアルタイム処理を推奨します。ただし、リアルタイム処理での実行頻度によっては医療機関内のシステム運用に影響が出る可能性があるため、その点を考慮し設計してください。</p> <p>一方、入院中に発生した臨床情報については、入院中に他医療機関等で当該情報を参照する必要があるケースが少なくないことを踏まえ、「退院日当日中（夜間登録も可）」までに登録してください。ただし、入院中に実施した検査や感染症検査のうち、退院日までに結果が確定しないものについては、検査結果を電子カルテに登録した、または検査システム等から電子カルテに連携されたタイミングで登録するものとします。</p> <p>また、本サービスの利用にあたっては、医師等の業務負荷の軽減に十分配慮する必要があります。たとえば、患者のカルテ画面を閉じたタイミングで自動的に登録する仕組みや、検査結果がシステムに取り込まれた時点で自動登録を行う仕組みなどが考えられます。ただし、運用上のトラブルを回避するため、医師等の判断により手動登録を選択できるようにすることも可能です。</p>																																																				
3	傷病名のClinicalstatus(転帰区分)の表示名称の日本語修正	臨床情報閲覧上の傷病名のClinicalStatusのステータスについて以下の通り変更する。 ・remission: (旧)軽快→(新)寛解 ・resolved: (旧)治癒→(新)軽快または治癒	あり	p83	<p>(5) 傷病名の臨床的状態（転帰区分）の設定について</p> <p>各傷病名に対して、臨床的状態（その傷病名の状態を示す）として Condition リソースの clinicalStatus 要素を設定する必要があります。clinicalStatus 要素には、一般的に電子カルテ上の「転帰区分」のなかで管理されているような臨床的状態を設定することを想定しております。設定可能な clinicalStatus は、resolved（軽快または治癒）/remission（寛解）/active（存続）/unknown（不明）の4区分です。</p> <p>また、各 clinicalStatus の値に応じて、Condition リソースの abatementDateTime 要素に「終了日（その患者に登録されていた傷病名がなくなった（消失した）とされた日）」を登録するか否かが定められています。特に、resolved（軽快または治癒）および remission（寛解）を設定する場合には、終了日等の登録が必須です。なお、clinicalStatus 要素は、「終了日（abatementDateTime）」が記録されていない場合には未記述であってもバリデーションチェックを通過します。ただし、転帰情報を正確に反映し、他医療機関等での再利用性を確保する観点から、可能な限り clinicalStatus を設定することが推奨されます。</p> <p>表 19. 傷病名の臨床的状態（転帰区分）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">本サービスの臨床的状態（転帰区分）の表示</th> <th rowspan="2">Condition リソースの clinicalStatus</th> <th colspan="3">レザルト連携等の転帰区分</th> <th rowspan="2">規定事項</th> </tr> <tr> <th>診療情報提供システム（電子カルテ）連携時</th> <th>レザルト連携時</th> <th>DPC 連携時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽快または治癒</td> <td>resolved</td> <td>治癒</td> <td>治癒</td> <td>治癒</td> <td>終了日(abatementDateTime)の登録が必須</td> </tr> <tr> <td>寛解</td> <td>remission</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>寛解</td> <td>終了日(abatementDateTime)の登録が必須</td> </tr> <tr> <td>存続</td> <td>active</td> <td>-</td> <td>治癒、寛解、寛解</td> <td>治癒</td> <td>終了日(abatementDateTime)の登録が不可</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>unknown</td> <td>死亡・中止</td> <td>死亡・中止</td> <td>死亡・中止</td> <td>終了日(abatementDateTime)の登録が不可</td> </tr> </tbody> </table>	本サービスの臨床的状態（転帰区分）の表示	Condition リソースの clinicalStatus	レザルト連携等の転帰区分			規定事項	診療情報提供システム（電子カルテ）連携時	レザルト連携時	DPC 連携時	軽快または治癒	resolved	治癒	治癒	治癒	終了日(abatementDateTime)の登録が必須	寛解	remission	-	-	寛解	終了日(abatementDateTime)の登録が必須	存続	active	-	治癒、寛解、寛解	治癒	終了日(abatementDateTime)の登録が不可	不明	unknown	死亡・中止	死亡・中止	死亡・中止	終了日(abatementDateTime)の登録が不可																			
本サービスの臨床的状態（転帰区分）の表示	Condition リソースの clinicalStatus	レザルト連携等の転帰区分			規定事項																																																				
		診療情報提供システム（電子カルテ）連携時	レザルト連携時	DPC 連携時																																																					
軽快または治癒	resolved	治癒	治癒	治癒	終了日(abatementDateTime)の登録が必須																																																				
寛解	remission	-	-	寛解	終了日(abatementDateTime)の登録が必須																																																				
存続	active	-	治癒、寛解、寛解	治癒	終了日(abatementDateTime)の登録が不可																																																				
不明	unknown	死亡・中止	死亡・中止	死亡・中止	終了日(abatementDateTime)の登録が不可																																																				
4	検査単位統一方針の見直し	本サービスに登録できる単位を拡充することで、医療機関で使用している検査試薬・機器に応じた単位を、原則としてそのまま登録できる方式へ見直し。	あり	p3	<p>5. 検査単位統一方針の見直し</p> <p>従来は、検査項目ごとに本サービスで指定した単位へ統一することを前提に整理を行っていましたが、実際には、本サービスで指定した単位への変換が困難な検査試薬・機器が存在しました。</p> <p>このため、本サービスに登録できる単位を拡充することで、医療機関で使用している検査試薬・機器に応じた単位を、原則としてそのまま登録できる方式へ見直ししました。</p>																																																				
5	感染症5項目および検査43項目のFHIR識別文字列の追加および変更	感染症5項目および検査43項目のFHIR識別文字列の追加および変更を行う。 【変更】 ● 尿中蛋白/クレアチニン比 (P/C比) 削除：「U-P/C」 追加：「U-P/C-定性」「U-P/C-定量」 ● 尿中アルブミン/クレアチニン比(A/C比) 削除：「U-A/C」追加：「U-A/C-定性」「U-A/C-定量」 【新規追加】 ● HBs → HBs抗体(陽性コントロール比) ● HCV → HCV抗原検査(陽性コントロール比)	なし	p86	<p>■ 感染症・検査の取扱いについて</p> <p>(1) 本サービスに登録する感染症5項目および検査43項目について</p> <p>本サービスにおける感染症5項目は、梅毒（梅毒 STS・TP 抗体）、HBV、HCV、HIV に関する検査結果（陰性を含む）を対象としています。</p> <p>また、検査43項目は、救急受診時に過去の健康・医療情報を適切に把握するために必要な項目および生活習慣病の診療や自己管理に有用な項目として選定された検査結果を対象としています。</p> <p>表 21. 感染症5項目の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目ID</th> <th>FHIR 識別文字列</th> <th>検査項目</th> <th>検査結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">梅毒 STS</td> <td>梅毒 STS(定性)</td> <td>定性検査「陽性」「陰性」</td> </tr> <tr> <td>梅毒 STS(定量)</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td>梅毒 STS(初診時)</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">梅毒 TP 抗体</td> <td>梅毒 TP 抗体(定性)</td> <td>定性検査「陽性」「陰性」「判定保留」</td> </tr> <tr> <td>梅毒 TP 抗体(陽性コントロール比)</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td>梅毒 TP 抗体(年定量)</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">3</td> <td rowspan="5">HBs</td> <td>梅毒 TP 抗体(定量)</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td>HBs(抗原(定性))</td> <td>定性検査「陽性」「陰性」</td> </tr> <tr> <td>HBs(抗原(初診時))</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td>HBs(抗原(検出))</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td>HBs(抗原(定量))</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">4</td> <td rowspan="5">HCV</td> <td>HBs(抗原(陽性コントロール比))</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td>HBs(抗体(定性))</td> <td>定性検査「陽性」「陰性」</td> </tr> <tr> <td>HBs(抗体(初診時))</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td>HBs(抗体(定量))</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td>HBs(抗体(陽性コントロール比))</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5</td> <td rowspan="3">HCV</td> <td>HCV 抗体(初診時(定性))</td> <td>定性検査「陽性」「陰性」</td> </tr> <tr> <td>HCV 抗体(初診時(定量))</td> <td>測定値</td> </tr> <tr> <td>HCV 抗体(初診時(陽性コントロール比))</td> <td>測定値</td> </tr> </tbody> </table>	項目ID	FHIR 識別文字列	検査項目	検査結果	1	梅毒 STS	梅毒 STS(定性)	定性検査「陽性」「陰性」	梅毒 STS(定量)	測定値	梅毒 STS(初診時)	測定値	2	梅毒 TP 抗体	梅毒 TP 抗体(定性)	定性検査「陽性」「陰性」「判定保留」	梅毒 TP 抗体(陽性コントロール比)	測定値	梅毒 TP 抗体(年定量)	測定値	3	HBs	梅毒 TP 抗体(定量)	測定値	HBs(抗原(定性))	定性検査「陽性」「陰性」	HBs(抗原(初診時))	測定値	HBs(抗原(検出))	測定値	HBs(抗原(定量))	測定値	4	HCV	HBs(抗原(陽性コントロール比))	測定値	HBs(抗体(定性))	定性検査「陽性」「陰性」	HBs(抗体(初診時))	測定値	HBs(抗体(定量))	測定値	HBs(抗体(陽性コントロール比))	測定値	5	HCV	HCV 抗体(初診時(定性))	定性検査「陽性」「陰性」	HCV 抗体(初診時(定量))	測定値	HCV 抗体(初診時(陽性コントロール比))	測定値
項目ID	FHIR 識別文字列	検査項目	検査結果																																																						
1	梅毒 STS	梅毒 STS(定性)	定性検査「陽性」「陰性」																																																						
		梅毒 STS(定量)	測定値																																																						
		梅毒 STS(初診時)	測定値																																																						
2	梅毒 TP 抗体	梅毒 TP 抗体(定性)	定性検査「陽性」「陰性」「判定保留」																																																						
		梅毒 TP 抗体(陽性コントロール比)	測定値																																																						
		梅毒 TP 抗体(年定量)	測定値																																																						
3	HBs	梅毒 TP 抗体(定量)	測定値																																																						
		HBs(抗原(定性))	定性検査「陽性」「陰性」																																																						
		HBs(抗原(初診時))	測定値																																																						
		HBs(抗原(検出))	測定値																																																						
		HBs(抗原(定量))	測定値																																																						
4	HCV	HBs(抗原(陽性コントロール比))	測定値																																																						
		HBs(抗体(定性))	定性検査「陽性」「陰性」																																																						
		HBs(抗体(初診時))	測定値																																																						
		HBs(抗体(定量))	測定値																																																						
		HBs(抗体(陽性コントロール比))	測定値																																																						
5	HCV	HCV 抗体(初診時(定性))	定性検査「陽性」「陰性」																																																						
		HCV 抗体(初診時(定量))	測定値																																																						
		HCV 抗体(初診時(陽性コントロール比))	測定値																																																						

技術解説書2.1.0版変更項目

#	項目	概要	後方互換性 有無	技術解説書の該当箇所																																																																																																																																																																	
				ページ番号	イメージ																																																																																																																																																																
					<table border="1"> <tr><td></td><td>4</td><td>HCV 抗原検査(定性)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>5</td><td>HCV 抗原検査(陽性コントロール用)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>6</td><td>HCV 抗体(中和抑制)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>7</td><td>HCV 抗体(定性)</td><td>定性値</td><td>「陽性」「陰性」</td></tr> <tr><td></td><td>8</td><td>HCV 抗体(陽性コントロール用)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>9</td><td>HCV 抗体-抗体抑制(定性)</td><td>定性値</td><td>「陽性」「陰性」</td></tr> <tr><td></td><td>10</td><td>HCV 抗体-抗体抑制(陽性コントロール用)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>11</td><td>HCV 抗体(臨床検査)</td><td>測定値</td><td></td></tr> </table>		4	HCV 抗原検査(定性)	測定値			5	HCV 抗原検査(陽性コントロール用)	測定値			6	HCV 抗体(中和抑制)	測定値			7	HCV 抗体(定性)	定性値	「陽性」「陰性」		8	HCV 抗体(陽性コントロール用)	測定値			9	HCV 抗体-抗体抑制(定性)	定性値	「陽性」「陰性」		10	HCV 抗体-抗体抑制(陽性コントロール用)	測定値			11	HCV 抗体(臨床検査)	測定値																																																																																																																									
	4	HCV 抗原検査(定性)	測定値																																																																																																																																																																		
	5	HCV 抗原検査(陽性コントロール用)	測定値																																																																																																																																																																		
	6	HCV 抗体(中和抑制)	測定値																																																																																																																																																																		
	7	HCV 抗体(定性)	定性値	「陽性」「陰性」																																																																																																																																																																	
	8	HCV 抗体(陽性コントロール用)	測定値																																																																																																																																																																		
	9	HCV 抗体-抗体抑制(定性)	定性値	「陽性」「陰性」																																																																																																																																																																	
	10	HCV 抗体-抗体抑制(陽性コントロール用)	測定値																																																																																																																																																																		
	11	HCV 抗体(臨床検査)	測定値																																																																																																																																																																		
5-			なし	p87	<table border="1"> <tr><td></td><td>1</td><td>HIV-1抗体(定性)</td><td>定性値</td><td>「陽性」「陰性」</td></tr> <tr><td></td><td>2</td><td>HIV-1抗体(陽性コントロール用)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>HIV-1抗体(中和抑制)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>4</td><td>HIV-1抗体(中和抑制コントロール用)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>5</td><td>HIV-1抗体(中和抑制)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>6</td><td>HIV-1抗体(定性)</td><td>定性値</td><td>「陽性」「陰性」</td></tr> <tr><td></td><td>7</td><td>HIV-1抗体(陽性コントロール用)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>8</td><td>HIV-1抗体-抗体抑制(定性)</td><td>定性値</td><td>「陽性」「陰性」</td></tr> <tr><td></td><td>9</td><td>HIV-1抗体-抗体抑制(陽性コントロール用)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>10</td><td>HIV-1抗体(臨床検査)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>11</td><td>HIV-2抗体(定性)</td><td>定性値</td><td>「陽性」「陰性」</td></tr> <tr><td></td><td>12</td><td>HIV-2抗体(陽性コントロール用)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>13</td><td>HIV-2抗体(中和抑制)</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>14</td><td>HIV-2抗体(臨床検査)</td><td>測定値</td><td></td></tr> </table> <p>表 22.検査 43 項目の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>項目コード</th> <th>測定値</th> <th>定性値</th> <th>定性値の表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>総蛋白(TP)</td><td>TP</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>アルブミン</td><td>ALB</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>クレアチニン(Cr)</td><td>Cr</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>AST(GOT)</td><td>AST</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>ALT(GPT)</td><td>ALT</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>LDH(LD)</td><td>LD</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>アルカリホスファターゼ(ALP)</td><td>ALP</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>γ-GTP(GGT)</td><td>GGT</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>コリンエステラーゼ(CHE)</td><td>CHE</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>アミラーゼ(AMY)</td><td>AMY</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>クレアチニン(Cr)</td><td>Cr</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>尿素窒素(BUN)</td><td>BUN</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>尿酸(UA)</td><td>UA</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>尿酸酵素(BUN)</td><td>BUN</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>アルブミン(白蛋白)</td><td>ALB</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>総蛋白(総蛋白)</td><td>TP</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td>中性脂肪(TG)</td><td>TG</td><td>測定値</td><td></td></tr> </tbody> </table>		1	HIV-1抗体(定性)	定性値	「陽性」「陰性」		2	HIV-1抗体(陽性コントロール用)	測定値			3	HIV-1抗体(中和抑制)	測定値			4	HIV-1抗体(中和抑制コントロール用)	測定値			5	HIV-1抗体(中和抑制)	測定値			6	HIV-1抗体(定性)	定性値	「陽性」「陰性」		7	HIV-1抗体(陽性コントロール用)	測定値			8	HIV-1抗体-抗体抑制(定性)	定性値	「陽性」「陰性」		9	HIV-1抗体-抗体抑制(陽性コントロール用)	測定値			10	HIV-1抗体(臨床検査)	測定値			11	HIV-2抗体(定性)	定性値	「陽性」「陰性」		12	HIV-2抗体(陽性コントロール用)	測定値			13	HIV-2抗体(中和抑制)	測定値			14	HIV-2抗体(臨床検査)	測定値		検査項目	項目コード	測定値	定性値	定性値の表示	1	総蛋白(TP)	TP	測定値		2	アルブミン	ALB	測定値		3	クレアチニン(Cr)	Cr	測定値		4	AST(GOT)	AST	測定値		5	ALT(GPT)	ALT	測定値		6	LDH(LD)	LD	測定値		7	アルカリホスファターゼ(ALP)	ALP	測定値		8	γ-GTP(GGT)	GGT	測定値		9	コリンエステラーゼ(CHE)	CHE	測定値		10	アミラーゼ(AMY)	AMY	測定値		11	クレアチニン(Cr)	Cr	測定値		12	尿素窒素(BUN)	BUN	測定値		13	尿酸(UA)	UA	測定値		14	尿酸酵素(BUN)	BUN	測定値		15	アルブミン(白蛋白)	ALB	測定値		16	総蛋白(総蛋白)	TP	測定値		17	中性脂肪(TG)	TG	測定値	
	1	HIV-1抗体(定性)	定性値	「陽性」「陰性」																																																																																																																																																																	
	2	HIV-1抗体(陽性コントロール用)	測定値																																																																																																																																																																		
	3	HIV-1抗体(中和抑制)	測定値																																																																																																																																																																		
	4	HIV-1抗体(中和抑制コントロール用)	測定値																																																																																																																																																																		
	5	HIV-1抗体(中和抑制)	測定値																																																																																																																																																																		
	6	HIV-1抗体(定性)	定性値	「陽性」「陰性」																																																																																																																																																																	
	7	HIV-1抗体(陽性コントロール用)	測定値																																																																																																																																																																		
	8	HIV-1抗体-抗体抑制(定性)	定性値	「陽性」「陰性」																																																																																																																																																																	
	9	HIV-1抗体-抗体抑制(陽性コントロール用)	測定値																																																																																																																																																																		
	10	HIV-1抗体(臨床検査)	測定値																																																																																																																																																																		
	11	HIV-2抗体(定性)	定性値	「陽性」「陰性」																																																																																																																																																																	
	12	HIV-2抗体(陽性コントロール用)	測定値																																																																																																																																																																		
	13	HIV-2抗体(中和抑制)	測定値																																																																																																																																																																		
	14	HIV-2抗体(臨床検査)	測定値																																																																																																																																																																		
検査項目	項目コード	測定値	定性値	定性値の表示																																																																																																																																																																	
1	総蛋白(TP)	TP	測定値																																																																																																																																																																		
2	アルブミン	ALB	測定値																																																																																																																																																																		
3	クレアチニン(Cr)	Cr	測定値																																																																																																																																																																		
4	AST(GOT)	AST	測定値																																																																																																																																																																		
5	ALT(GPT)	ALT	測定値																																																																																																																																																																		
6	LDH(LD)	LD	測定値																																																																																																																																																																		
7	アルカリホスファターゼ(ALP)	ALP	測定値																																																																																																																																																																		
8	γ-GTP(GGT)	GGT	測定値																																																																																																																																																																		
9	コリンエステラーゼ(CHE)	CHE	測定値																																																																																																																																																																		
10	アミラーゼ(AMY)	AMY	測定値																																																																																																																																																																		
11	クレアチニン(Cr)	Cr	測定値																																																																																																																																																																		
12	尿素窒素(BUN)	BUN	測定値																																																																																																																																																																		
13	尿酸(UA)	UA	測定値																																																																																																																																																																		
14	尿酸酵素(BUN)	BUN	測定値																																																																																																																																																																		
15	アルブミン(白蛋白)	ALB	測定値																																																																																																																																																																		
16	総蛋白(総蛋白)	TP	測定値																																																																																																																																																																		
17	中性脂肪(TG)	TG	測定値																																																																																																																																																																		
5-			なし	p88	<table border="1"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>項目コード</th> <th>測定値</th> <th>定性値</th> <th>定性値の表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18</td><td>総コレステロール(T-CHO)</td><td>T-CHO</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td>HDLコレステロール(HDL-C)</td><td>HDL-C</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td>LDLコレステロール(LDL-C)</td><td>LDL-C</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td>アトラクチン(Na)</td><td>Na</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>カリウム(K)</td><td>K</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td>カルシウム(Ca)</td><td>Ca</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td>マグネシウム(Mg)</td><td>Mg</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>総ビリルビン(T-Bil)</td><td>T-Bil</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td>直接ビリルビン(D-Bil)</td><td>D-Bil</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>27</td><td>赤血球数(RBC)</td><td>RBC</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td>白血球数(WBC)</td><td>WBC</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td>血小板数(PLT)</td><td>PLT</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td>活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)</td><td>APTT</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>31</td><td>プロトロンニン時間</td><td>PT</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>32</td><td>PT-INR</td><td>PT-INR</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>33</td><td>Dダイマー(D-D)</td><td>D-D</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>34</td><td>尿酸(UA)</td><td>UA</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>35</td><td>尿酸酵素(BUN)</td><td>BUN</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>36</td><td>尿酸(UA)</td><td>UA</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>37</td><td>尿酸酵素(BUN)</td><td>BUN</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>38</td><td>尿酸(UA)</td><td>UA</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>39</td><td>尿酸酵素(BUN)</td><td>BUN</td><td>測定値</td><td></td></tr> </tbody> </table>	検査項目	項目コード	測定値	定性値	定性値の表示	18	総コレステロール(T-CHO)	T-CHO	測定値		19	HDLコレステロール(HDL-C)	HDL-C	測定値		20	LDLコレステロール(LDL-C)	LDL-C	測定値		21	アトラクチン(Na)	Na	測定値		22	カリウム(K)	K	測定値		23	カルシウム(Ca)	Ca	測定値		24	マグネシウム(Mg)	Mg	測定値		25	総ビリルビン(T-Bil)	T-Bil	測定値		26	直接ビリルビン(D-Bil)	D-Bil	測定値		27	赤血球数(RBC)	RBC	測定値		28	白血球数(WBC)	WBC	測定値		29	血小板数(PLT)	PLT	測定値		30	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	APTT	測定値		31	プロトロンニン時間	PT	測定値		32	PT-INR	PT-INR	測定値		33	Dダイマー(D-D)	D-D	測定値		34	尿酸(UA)	UA	測定値		35	尿酸酵素(BUN)	BUN	測定値		36	尿酸(UA)	UA	測定値		37	尿酸酵素(BUN)	BUN	測定値		38	尿酸(UA)	UA	測定値		39	尿酸酵素(BUN)	BUN	測定値																																														
検査項目	項目コード	測定値	定性値	定性値の表示																																																																																																																																																																	
18	総コレステロール(T-CHO)	T-CHO	測定値																																																																																																																																																																		
19	HDLコレステロール(HDL-C)	HDL-C	測定値																																																																																																																																																																		
20	LDLコレステロール(LDL-C)	LDL-C	測定値																																																																																																																																																																		
21	アトラクチン(Na)	Na	測定値																																																																																																																																																																		
22	カリウム(K)	K	測定値																																																																																																																																																																		
23	カルシウム(Ca)	Ca	測定値																																																																																																																																																																		
24	マグネシウム(Mg)	Mg	測定値																																																																																																																																																																		
25	総ビリルビン(T-Bil)	T-Bil	測定値																																																																																																																																																																		
26	直接ビリルビン(D-Bil)	D-Bil	測定値																																																																																																																																																																		
27	赤血球数(RBC)	RBC	測定値																																																																																																																																																																		
28	白血球数(WBC)	WBC	測定値																																																																																																																																																																		
29	血小板数(PLT)	PLT	測定値																																																																																																																																																																		
30	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	APTT	測定値																																																																																																																																																																		
31	プロトロンニン時間	PT	測定値																																																																																																																																																																		
32	PT-INR	PT-INR	測定値																																																																																																																																																																		
33	Dダイマー(D-D)	D-D	測定値																																																																																																																																																																		
34	尿酸(UA)	UA	測定値																																																																																																																																																																		
35	尿酸酵素(BUN)	BUN	測定値																																																																																																																																																																		
36	尿酸(UA)	UA	測定値																																																																																																																																																																		
37	尿酸酵素(BUN)	BUN	測定値																																																																																																																																																																		
38	尿酸(UA)	UA	測定値																																																																																																																																																																		
39	尿酸酵素(BUN)	BUN	測定値																																																																																																																																																																		
5-			なし	p89	<table border="1"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>項目コード</th> <th>測定値</th> <th>定性値</th> <th>定性値の表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>40</td><td>心臓 Na 利尿剤-ブナド利尿剤 N 塩化ナトリウム (NT-proBNP)</td><td>NT-proBNP</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>41</td><td>C反応性蛋白(CRP)</td><td>CRP</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>42</td><td>尿酸酵素-ABO</td><td>尿酸酵素-ABO</td><td>測定値</td><td></td></tr> <tr><td>43</td><td>尿酸酵素-BB</td><td>尿酸酵素-BB</td><td>測定値</td><td></td></tr> </tbody> </table>	検査項目	項目コード	測定値	定性値	定性値の表示	40	心臓 Na 利尿剤-ブナド利尿剤 N 塩化ナトリウム (NT-proBNP)	NT-proBNP	測定値		41	C反応性蛋白(CRP)	CRP	測定値		42	尿酸酵素-ABO	尿酸酵素-ABO	測定値		43	尿酸酵素-BB	尿酸酵素-BB	測定値																																																																																																																																								
検査項目	項目コード	測定値	定性値	定性値の表示																																																																																																																																																																	
40	心臓 Na 利尿剤-ブナド利尿剤 N 塩化ナトリウム (NT-proBNP)	NT-proBNP	測定値																																																																																																																																																																		
41	C反応性蛋白(CRP)	CRP	測定値																																																																																																																																																																		
42	尿酸酵素-ABO	尿酸酵素-ABO	測定値																																																																																																																																																																		
43	尿酸酵素-BB	尿酸酵素-BB	測定値																																																																																																																																																																		

技術解説書2.1.0版変更項目				技術解説書の該当箇所	
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ
6	検査・感染症情報の単位チェックロジック変更	検査単位方針の見直し（検査ごとに検査の単位を統一せず、試薬や機器を利用して得られた結果値と単位をそのまま登録できるようにするという方針）に基づき、JLACコード表に試薬や機器を利用して得られる単位を全て記載する。JLAC10で情報登録された場合はJLACコード表中の当該コードに対する単位であるかを確認する（複数コード・単位が該当する）仕組みを構築する。 ※JLAC11で情報登録された場合は現状のままJLACコード表に指定された単位チェックを行う。（1コード1単位が該当）	あり	p3	5. 検査単位統一方針の見直し 従来は、検査項目ごとに本サービスで指定した単位へ統一することを前提に整理を行っていましたが、実際には、本サービスで指定した単位への変換が困難な検査試薬・機器が存在しました。 このため、本サービスに登録できる単位を拡充することで、医療機関で使用している検査試薬・機器に応じた単位を、原則としてそのまま登録できる方式へ見直しました。
7	検査・感染症の基準値範囲の境界条件の表現の明示	基準値範囲の境界条件の表現が「未満／超過」または「以下／以上」のいずれであるかにかかわらず、Observation.referenceRange.low および Observation.referenceRange.high には、境界値そのものを記録するよう明記する。	あり	p95-96	(9) 検査結果の基準値範囲について 検査結果を数値で記述する場合には、検査値の基準値範囲を必ず Observation.referenceRange 要素に記述する必要があります。基準値範囲は、使用する試薬・検査機器・測定方法・性別・年齢区分・学会ガイドラインなどによって異なる場合があり、医師が経時的な変化を評価し、異常値を正確に判定するための重要な情報となります。たとえば、同じ HbA1c であっても、HPLC 法、酵素法、免疫凝集比濁法など測定方法の違いにより基準範囲が異なるケースがあります。そのため、検査結果を数値で記述する場合には、必ず基準値範囲を設定してください。 特に、測定値として結果を記録している Observation において、referenceRange の記載がない場合はバリデーションエラーとなります。 また、医療機関等のシステムや電子カルテシステムで、正常値範囲・異常値範囲・パニック値など複数の基準値範囲を保持している場合には、正常値範囲のみを記述してください。本サービスでは、Observation.referenceRange 要素に複数の基準値範囲を同時に登録することはできません。2種類以上を設定した場合はエラーとなります。 なお、本サービスでは、基準値範囲の境界条件の表現が「未満／超過」または「以下／以上」のいずれであるかにかかわらず、Observation.referenceRange.low および 95 Observation.referenceRange.high には、境界値そのものを記録してください。たとえば、医療機関が利用している基準値（正常値範囲）が「10.0 mg < X < 20.0 mg」または「10.0 mg ≦ X ≦ 20.0 mg」である場合のいずれにおいても、referenceRange.low = 10.0 mg、referenceRange.high = 20.0 mg として記述してください。
8	感染症情報の登録タイミングについての見直し	感染症情報は、電子カルテにデータが登録されたタイミングで本サービスへ登録する取扱いとします。ただし、このタイミングにおいて登録された情報は他医療機関等へのみ表示され、患者に対しては、患者への送付が可能であると医師等が判断した時点で、患者共有フラグを付与して情報を更新することで患者が確認できるようにする運用とする。	あり	p2	2. 感染症情報の登録タイミングの見直し 感染症情報は、電子カルテにデータが登録されたタイミングで本サービスへ登録する取扱いとしました。ただし、このタイミングにおいて登録された情報は他医療機関等へのみ表示され、患者に対しては、患者への送付が可能であると医師等が判断した時点で、該当情報に患者共有フラグを付与して更新することで患者が確認できるようにする運用としました。
8	-	-	あり	p74-75	本サービスへ登録された臨床情報は、患者本人がマイナポータル上で閲覧可能となります。 傷病名・感染症情報は、患者が認識していない情報がマイナポータル上で閲覧した場合に混乱を招く可能性があるため、以下のフラグ設定に留意のうえ、必ず医師等の判断を経たうえで登録ください。 ● 傷病名 医師等が患者に対して十分に説明していない情報がマイナポータル上で閲覧可能となるおそれがあるため、患者の不安や誤解を招く恐れがある傷病名を他医療機関等へのみに共有する場合は、未告知フラグを設定してください。 ● 感染症 患者へ説明が必要な感染症の検査結果は、医師による説明前にマイナポータル上で表示されることを避けるため、「患者共有フラグ」が当該結果に設定されるまでは、マイナポータルで表示されません。そのため、患者へ送付可能となった情報は必ず「患者共有フラグ」を設定してください。 74 なお、未告知フラグ・患者共有フラグの設定方法については、「6.2 各機能の説明」の「機能 5：未告知フラグ、患者共有フラグ、長期保存フラグの付与」を参照ください。
8	-	-	あり	p98	(13) 感染症検査結果の共有のタイミングと患者説明の取扱い 感染症検査結果は、電子カルテにデータが登録されたタイミングで本サービスへ登録してください。なお、この時点において登録された感染症検査の情報は、他医療機関等へのみ表示され、患者のマイナポータル上には表示されません。また、他医療機関等には、当該情報が患者のマイナポータルに表示されていない情報であることが分かるように示します。 感染症の検査結果情報は病名と直結する場合もあり、明示的にその疾患の特徴や今後の治療方針等について、医師から患者に対して説明が行われていない情報等が患者のマイナポータルに表示されると、患者に誤解を与える可能性があります。 そのため、当該感染症検査結果を患者へ説明するなどマイナポータルに表示しても誤解なく伝わる状況であることを医師等が判断したものは、当該 Observation リソースに患者共有フラグを設定のうえ本サービスに登録あるいは更新するようにしてください。 患者共有フラグの実装内容や電子カルテ上の画面イメージについては、「6.2 各機能の説明」の「機能 5：未告知フラグ、患者共有フラグ、長期保存フラグの付与」を参照ください。

技術解説書2.1.0版変更項目				技術解説書の該当箇所	
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ
8	-	-	あり	p126-127	<p>■ 患者共有フラグの取扱いについて</p> <p>本サービスにおいて、患者共有フラグは感染症情報にのみ設定することができます。感染症の検査結果情報は病名と直結することもあり、明示的にその疾患の特徴や今後の治療方針等を医師から患者に対して十分に説明されていない情報がマイナポータルにて表示されることで、患者に誤解を与える可能性があります。そのため、患者へ検査結果の説明を実施した後など、患者が誤解なく情報を受け取れる状況であることを確認したうえで、当該 Observation リソースに対して「患者共有フラグ」を設定してください。患者共有フラグを設定する際は、Observation.meta.tag 要素に「PTS」を記述します。「患者共有フラグ」が設定された感染症情報は、他医療機関等および患者本人へ共有されます。</p> <p>一方で、「患者共有フラグ」が設定されていない感染症情報は、他医療機関等のみにも共有されます。「患者共有フラグ」が設定されていない感染症情報を他医療機関等が取得・閲覧する際には、患者のマイナポータル上に表示されていない旨も確認できます。</p> <p>一般的な「患者共有フラグ」設定の流れとしては、感染症検査実施後、検査結果が電子カルテに登録された際に「患者共有フラグ」を設定せずに本サービスにまず登録し、患者への説明後などで「患者共有ボタン」等が押下されたタイミングで「患者共有フラグ」を該当の Observation リソースに設定して当該情報を更新してください。</p> <p style="text-align: center;">126</p> <p>なお、当該検査結果に患者共有フラグを設定し損ね患者にいつまでも結果が共有されないことを防ぐため、患者へ検査結果の説明後など患者に検査結果を共有できる状況となった場合には、速やかに患者共有フラグが設定されて送信されるよう注意を実施ください。</p>
9	薬剤アレルギー等・その他アレルギー等物質の登録情報の登録範囲	本サービスに登録するアレルギー等情報は、「重篤なアレルギー等」とし、まずは、アナフィラキシー症状(疑いを含む)を生じたアレルギー等情報(※)を登録対象とする。 ※なお、まずは、アナフィラキシー症状(疑いを含む)を登録する対象としますが、劇症肝炎などの重篤な症状に関して、他医療機関等に共有すべきと医師等が判断した場合に登録することを可能とする。	あり	p2	<p>3. アレルギー等情報の登録範囲の見直し</p> <p>本サービスに登録し、医療機関等開示・患者へ共有するアレルギー等情報は「重篤なアレルギー等」を対象とします。まずは、アナフィラキシー(疑いを含む)を登録対象としていますが、劇症肝炎などの重篤な症状に関して、他の医療機関等に共有すべきと医師等が判断した場合も、登録が可能です。アレルギー等情報を登録する際は、他の医療従事者が可能な限り正しく理解・活用できるように、症状が発生した際の状況や症状・所見・診断名等・物質名など共有が必要と思われる情報を登録する方針となります。</p>
9	-	-	あり	p100	<p>■ 薬剤アレルギー等、その他アレルギー等の取扱いについて</p> <p>(1) 本サービスに登録する薬剤アレルギー等、その他アレルギー等については本サービスに登録するアレルギー等情報は、「重篤なアレルギー等」とし、まずは、アナフィラキシー症状(疑いを含む)を生じたアレルギー等情報(※)を登録対象とします。他の医療従事者が可能な限り正しく理解して情報を活用できるように、臨床情報等(発生した際の状況や症状・所見・診断名等)を、本サービスに登録する際は reaction.manifestation.text 要素(reaction.manifestation.coding 要素も可)に必ず記載してください。</p> <p>※なお、まずは、アナフィラキシー症状(疑いを含む)を登録する対象としますが、劇症肝炎などの重篤な症状に関して、他医療機関等に共有すべきと医師等が判断した場合に登録することを可能とします。</p> <p>原則の登録対象について、アナフィラキシー(疑いを含む)以外の情報も将来的に対象とすることも引き続き検討いたします。</p> <p>電子カルテ上の画面イメージについては、「6.2 各機能の説明」の「機能5:未告知フラグ、患者共有フラグ、長期保存フラグの付与」を参照してください。</p> <p>また、どのような情報を登録するべきかが分かるようにインフォメーションアイコンを設け、医療従事者が登録対象を容易に理解できるように示すことが望まれます。</p>
9	-	-	あり	p127	<p>■ 各種フラグの運用における実装上の留意事項</p> <p>未告知フラグ・患者共有フラグ・長期保存フラグは、他医療機関等および患者に対する閲覧情報の制御を行うためのフラグであるため、各フラグに対応する電子カルテ等画面上のボタンの誤操作によって想定外の情報が連携されるようにする必要があります。医療従事者が医療機関を異動した場合においても、各種ボタンの名称をなるべく誤認することなく利用できるように、下図で示した名称で実装するなど配慮してください。</p> <p>また、各種ボタンの意味が医療従事者も分かるようにインフォメーションアイコン等で説明を記載できるようにすることも推奨します。</p>
10	薬剤アレルギー等・その他アレルギー等の症状の記載	AllergyIntolerance リソースにおける reaction.manifestation 要素について、アレルギー情報をより正確に共有する観点から、アレルギー症状を必ず記述するよう実装する方針とする。	あり	p104-105	<p>(8) アレルギー等の症状の記述ルール</p> <p>reaction.manifestation 要素は、アレルギー反応等により生じた臨床症状等(発生した状況や症状・所見・診断名等)を表す項目です。本要素は、コードを使用せずテキストのみで記述しても差し支えありません。ただし、コードを使用する場合についても、特定のマスタの指定はなく、医療機関等で運用している任意のコード体系を用いることができます。ただし、病名管理番号を用いる場合は、病名と同様に、バリデーションチェックにおいて code と display の内容が一致していることを確認する整合性チェックを実施します。</p> <p>AllergyIntolerance リソースにおける reaction.manifestation 要素を記述しているかどうかを登録時のバリデーションチェックによりチェックすることまでは現時点で行っていませんが、アレルギー等情報をより正確に共有する観点から、本サービスに登録する際はアレルギー反応等により生じた臨床症状等(発生した状況や症状・所見・診断名等)を必ず記述してください。なお、臨床症状等が記述されていない情報は本サービスに登録できないよう実装としてください。</p> <p>ただし、医療機関等の運用の便宜上、症状・所見等の記載に用いるテンプレートをあらかじめ設定し、医師等が当該テンプレートを選択することで、症状・所見等の記述を支援する仕組みを設けることは引き続き検討します。</p> <p style="text-align: center;">104</p>

技術解説書2.1.0版変更項目				技術解説書の該当箇所																																																																																														
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ																																																																																													
12	薬剤アレルギー等・その他アレルギー等の登録タイミング	薬剤アレルギー等・その他アレルギー等の登録タイミングについて、本サービスへ登録する際に用いるアレルギー入力欄に情報を登録・更新したタイミングに登録する。	あり	p74	<p>■ 臨床情報の登録タイミングおよび留意事項</p> <p>臨床情報の具体的な登録タイミングは、医療機関の規模や診療特性を踏まえて各医療機関の判断に委ねるものとします。外来診療における登録タイミングの目安は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 傷病名：本サービスへ登録する際に用いる病名リストを登録・更新したタイミング ● 薬剤アレルギー等、その他アレルギー等：本サービスへ登録する際に用いるアレルギー等の入力欄に情報を登録・更新したタイミング ● 検査、感染症：本サービスへ登録する検査結果を電子カルテに登録した、または、検査結果が検査システム等から電子カルテに連携されたタイミング <p>なお、上記のタイミングでの即時登録に限らず、夜間にまとめて登録いただくことも可能です。受診日当日における他医療機関や薬局で臨床情報を閲覧するケースを踏まえ、臨床情報の登録はリアルタイム処理を推奨します。ただし、リアルタイム処理での実行頻度によっては医療機関内のシステム運用に影響が出る可能性があるため、その点を考慮し設計してください。</p> <p>一方、入院中に発生した臨床情報については、入院中他医療機関等で当該情報を参照する必要があるケースが少ないことを踏まえ、「退院日当日中（夜間登録も可）」までに登録してください。ただし、入院中に実施した検査や感染症検査のうち、退院日までに結果が確定しないものについては、検査結果を電子カルテに登録した、または検査システム等から電子カルテに連携されたタイミングで登録するものとします。</p> <p>また、本サービスの利用にあたっては、医師等の業務負荷の軽減に十分配慮する必要があります。たとえば、患者のカルテ画面を閉じたタイミングで自動的に登録する仕組みや、検査結果がシステムに取り込まれた時点で自動登録を行う仕組みなどが考えられます。ただし、運用上のトラブルを回避するため、医師等の判断により手動登録を選択できるようにすることも可能です。</p>																																																																																													
13	薬剤アレルギー等・その他アレルギー等の確定状況 (verificationStatus) の設定をしないことの推奨	薬剤アレルギー等・その他アレルギー等情報を本サービスへ登録する際は、verificationStatus要素を設定しないことを推奨する。	あり	p101	<p>(4) アレルギー等情報の確定状況 (verificationStatus) の扱い方針</p> <p>verificationStatus 要素については、当面の間は利用しません。FHIR 仕様上、verificationStatus は「confirmed (確定)」「unconfirmed (未確定)」「refuted (否定済み)」などの状態を表現できますが、現時点ではこの要素を XML レイアウトや PDF 帳票ファイルに表示しません。したがって、AllergyIntolerance リソースを登録する際に verificationStatus 要素を省略しても、当面の間はパージョンエラーにはなりません。</p> <p>そのため、アレルギー等情報を本サービスへ登録する際は、verificationStatus 要素を設定しないことを推奨します。</p>																																																																																													
14	薬剤アレルギー等・その他アレルギー等の重症度 (criticality) の設定をしないことの推奨	薬剤アレルギー等・その他アレルギー等情報を本サービスへ登録する際は、criticality要素を設定しないことを推奨する。	あり	p101	<p>(5) アレルギー等情報の重症度の分類と設定方針</p> <p>criticality 要素については、当面の間は利用しません。FHIR 仕様上、アレルギーや不耐症などの臨床的な反応性については、criticality 要素を用いて「重症度 (criticality)」として記録できますが、当面の間(令和8年9月末以降の改修においては)、本サービスから他医療機関への出力・表示される項目の対象外となります。そのため、本サービスへ登録するアレルギー等情報は、criticality 要素を設定せずに登録することを推奨します。</p>																																																																																													
15	その他アレルギー等のカテゴリの設定をしないことの推奨	「その他アレルギー等」に該当する場合は、category 要素は設定しないことを推奨する。(設定されても他医療機関等や患者へ共有されない)	あり	p100	<p>(2) 薬剤アレルギー等とその他アレルギー等との識別方法</p> <p>「薬剤アレルギー等」に該当する場合は、原則として medication を設定します。なお、将来的な拡張を見据えて biologic (生物学的製剤) を設定してデータ登録を行った場合でも、薬剤アレルギー等情報として、医療機関等のシステムやマイナポータルに共有される仕様となっています。ただし、現時点では biologic に関する運用方針が定まっていないため、当面は biologic の設定を行わないようにしてください。将来的に、生物学的製剤を対象とした取扱いルールが整備された際には、別途通知される予定です。</p> <p>一方、「その他アレルギー等」に該当する場合は、category 要素は設定しないことを推奨します。category 要素に値を設定した場合でもエラーにはなりませんが、category 要素の内容は他医療機関等や患者へは共有されません。</p>																																																																																													
16	その他アレルギー等情報における「特定原材料」および「特定原材料に準ずるもの」J-FAGYコードの追加及び変更	「特定原材料」および「特定原材料に準ずるもの」J-FAGYコードについて以下のようになら追加及び変更。 ●新規追加 (1件) 1. ピスタチオ ●Allergen Term (JP) の変更 (5件) 1. 変更前) 食用鶏卵 変更後) 卵 2. 変更前) 落花生 変更後) 落花生 (ピーナッツ) 3. 変更前) いか類 変更後) いか 4. 変更前) マカデミアナッツ 変更後) マカダミアナッツ 5. 変更前) やまのいも 変更後) やまいも	なし	P103-104	<p>表 28. 「特定原材料」および「特定原材料に準ずるもの」J-FAGY コード</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示種別*</th> <th>JFAGY Allergen Term (JP)</th> <th>JFAGY code</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>特定</td><td>えび</td><td>J9FC15110000</td></tr> <tr><td>特定</td><td>かに</td><td>J9FC15120000</td></tr> <tr><td>特定</td><td>くるみ</td><td>J9FA32280000</td></tr> <tr><td>特定</td><td>小麦</td><td>J9FA15000000</td></tr> <tr><td>特定</td><td>そば</td><td>J9FA19140000</td></tr> <tr><td>特定</td><td>卵</td><td>J9FB13000000</td></tr> <tr><td>特定</td><td>乳</td><td>J9FB12000000</td></tr> <tr><td>特定</td><td>落花生 (ピーナッツ)</td><td>J9FA21180000</td></tr> <tr><td>特定</td><td>カシューナッツ</td><td>J9FA32320000</td></tr> <tr><td>準</td><td>アーモンド</td><td>J9FA32310000</td></tr> <tr><td>準</td><td>あわび</td><td>J9FC12190000</td></tr> <tr><td>準</td><td>いか</td><td>J9FC13000000</td></tr> <tr><td>準</td><td>いくら</td><td>J9FC28150000</td></tr> <tr><td>準</td><td>オレンジ</td><td>J9FA32111600</td></tr> <tr><td>準</td><td>キウイフルーツ</td><td>J9FA32540000</td></tr> <tr><td>準</td><td>牛肉</td><td>J9FB11110000</td></tr> <tr><td>準</td><td>ごま</td><td>J9FA32340000</td></tr> <tr><td>準</td><td>さけ</td><td>J9FC11240000</td></tr> <tr><td>準</td><td>さば</td><td>J9FC11310000</td></tr> <tr><td>準</td><td>大豆</td><td>J9FA21110000</td></tr> <tr><td>準</td><td>鶏肉</td><td>J9FB11180000</td></tr> <tr><td>準</td><td>バナナ</td><td>J9FA32490000</td></tr> <tr><td>準</td><td>豚肉</td><td>J9FB11120000</td></tr> <tr><td>準</td><td>マカデミアナッツ</td><td>J9FA32370000</td></tr> <tr><td>準</td><td>もも</td><td>J9FA32210000</td></tr> <tr><td>準</td><td>やまいも</td><td>J9FA24190000</td></tr> </tbody> </table> <p>103</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示種別*</th> <th>JFAGY Allergen Term (JP)</th> <th>JFAGY code</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>準</td><td>りんご</td><td>J9FA32120000</td></tr> <tr><td>準</td><td>ゼラチン</td><td>J9FC26000000</td></tr> <tr><td>準</td><td>ピスタチオ</td><td>J9FA32330000</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 特定：特定原材料、準：特定原材料に準ずるもの</p>	表示種別*	JFAGY Allergen Term (JP)	JFAGY code	特定	えび	J9FC15110000	特定	かに	J9FC15120000	特定	くるみ	J9FA32280000	特定	小麦	J9FA15000000	特定	そば	J9FA19140000	特定	卵	J9FB13000000	特定	乳	J9FB12000000	特定	落花生 (ピーナッツ)	J9FA21180000	特定	カシューナッツ	J9FA32320000	準	アーモンド	J9FA32310000	準	あわび	J9FC12190000	準	いか	J9FC13000000	準	いくら	J9FC28150000	準	オレンジ	J9FA32111600	準	キウイフルーツ	J9FA32540000	準	牛肉	J9FB11110000	準	ごま	J9FA32340000	準	さけ	J9FC11240000	準	さば	J9FC11310000	準	大豆	J9FA21110000	準	鶏肉	J9FB11180000	準	バナナ	J9FA32490000	準	豚肉	J9FB11120000	準	マカデミアナッツ	J9FA32370000	準	もも	J9FA32210000	準	やまいも	J9FA24190000	表示種別*	JFAGY Allergen Term (JP)	JFAGY code	準	りんご	J9FA32120000	準	ゼラチン	J9FC26000000	準	ピスタチオ	J9FA32330000
表示種別*	JFAGY Allergen Term (JP)	JFAGY code																																																																																																
特定	えび	J9FC15110000																																																																																																
特定	かに	J9FC15120000																																																																																																
特定	くるみ	J9FA32280000																																																																																																
特定	小麦	J9FA15000000																																																																																																
特定	そば	J9FA19140000																																																																																																
特定	卵	J9FB13000000																																																																																																
特定	乳	J9FB12000000																																																																																																
特定	落花生 (ピーナッツ)	J9FA21180000																																																																																																
特定	カシューナッツ	J9FA32320000																																																																																																
準	アーモンド	J9FA32310000																																																																																																
準	あわび	J9FC12190000																																																																																																
準	いか	J9FC13000000																																																																																																
準	いくら	J9FC28150000																																																																																																
準	オレンジ	J9FA32111600																																																																																																
準	キウイフルーツ	J9FA32540000																																																																																																
準	牛肉	J9FB11110000																																																																																																
準	ごま	J9FA32340000																																																																																																
準	さけ	J9FC11240000																																																																																																
準	さば	J9FC11310000																																																																																																
準	大豆	J9FA21110000																																																																																																
準	鶏肉	J9FB11180000																																																																																																
準	バナナ	J9FA32490000																																																																																																
準	豚肉	J9FB11120000																																																																																																
準	マカデミアナッツ	J9FA32370000																																																																																																
準	もも	J9FA32210000																																																																																																
準	やまいも	J9FA24190000																																																																																																
表示種別*	JFAGY Allergen Term (JP)	JFAGY code																																																																																																
準	りんご	J9FA32120000																																																																																																
準	ゼラチン	J9FC26000000																																																																																																
準	ピスタチオ	J9FA32330000																																																																																																

技術解説書2.1.0版変更項目

技術解説書の該当箇所


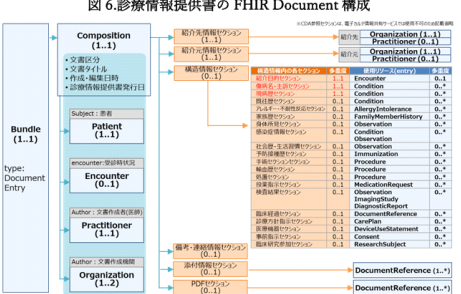
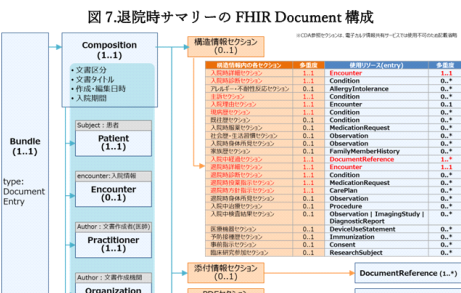
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ																											
17	臨床情報一覧(PDF帳票・XML)のレイアウト変更	臨床情報一覧のPDFレイアウトおよびXMLレイアウトを変更する。	あり	p77	<p>図 15.臨床情報一覧の PDF 帳票ファイルサムネイルイメージ (令和 8 年 9 月末の仕様で標準化したイメージ。)</p>																											
17	-	-	あり	p78	<p>下表は、臨床情報一覧に出力される関連情報と、対応する FHIRPath の対応関係を示したものです。各出力項目がどの FHIR 要素に対応しているかを明確にし、システム実装時に正しく値をマッピングできるようにすることを目的としています。備考欄には、表示形式・記述ルール・例外条件など、実装上の留意事項を記載しています。</p> <p>表 18.臨床情報一覧に出力される FHIR 記述箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出力項目</th> <th>FHIRPath</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者名</td> <td>Condition.verificationStatus.coding.code</td> <td>「Unconfirmed(未確認)」、「Confirmed(確認済み)」の臨床情報のみを臨床情報一覧のリストとして表示。 「病名有理番号コード」の表示名称(display)値を表示。 「診断修飾語」+「診断名」+「診断修飾語」の形式で出力。修飾語が複数ある場合は横並びし、斜字は MEANS の接続詞区分に準拠。 「メタタグ」の場合は meta 属性を表示。</td> </tr> <tr> <td>(の疑い)</td> <td>Condition.verificationStatus.coding.code</td> <td>「verificationStatus=Unconfirmed」の場合、患者名の後に「(の疑い)」を表示。ただし、修飾語コード→2700001(の疑い)が設定されている場合は横並びで表示しない。</td> </tr> <tr> <td>診断開始日</td> <td>Condition.onsetDate/Time</td> <td>「日付は「YYYY 年 YYYY 年 MM 月」/「YYYY 年 MM 月 DD 日」/「YYYY 年 MM 月 DD 日 HH:mm:ss」の形式で表示。 「終日判別範囲なし」の場合。</td> </tr> <tr> <td>終了日</td> <td>Condition.abatementDate/Time</td> <td>「日付は「YYYY 年 MM 月 DD 日」/「YYYY 年 MM 月 DD 日 HH:mm:ss」の形式で表示。 「終了日が入っている臨床情報は終了日欄に記載」。</td> </tr> <tr> <td>主病名</td> <td>Condition.extension:C5_DiagnosisType.coding.code</td> <td>「Principal」が設定されている場合、臨床情報の先に「主病名」と表示。</td> </tr> <tr> <td>告知状況</td> <td>Condition.meta.tag:uninformed.code</td> <td>「meta.tag=UNINFORMED」が設定されている場合は、「未告知」と表示。 告知状況が「2」に設定されているケースについては、PDR 範囲上、本項目の告知名称は「患者告知済み」と変更され、meta.tag=UNINFORMED が設定されている場合は「×」と表示されます。なお、XML レイアウトにおける告知のロジックは変更ありません。</td> </tr> <tr> <td>臨床的状態</td> <td>Condition.clinicalStatus.coding.code</td> <td>「status」が「active」、「onhold」、「remission」状態、remission 状態に設定されている場合は「【】」と表示。</td> </tr> <tr> <td>診断修飾語</td> <td>Bundle.identifier.value 要素の先頭 10 桁</td> <td>「修飾語」に基づき値を設定。修飾語が複数ある場合は、修飾語が複数ある場合と異なる修飾語には、その優先順位に【】を付与。 「修飾語が複数ある場合」の修飾語は、修飾語の優先順位に【】を付与して表示されている場合は修飾語の修飾語名を表示。</td> </tr> </tbody> </table>	出力項目	FHIRPath	備考	患者名	Condition.verificationStatus.coding.code	「Unconfirmed(未確認)」、「Confirmed(確認済み)」の臨床情報のみを臨床情報一覧のリストとして表示。 「病名有理番号コード」の表示名称(display)値を表示。 「診断修飾語」+「診断名」+「診断修飾語」の形式で出力。修飾語が複数ある場合は横並びし、斜字は MEANS の接続詞区分に準拠。 「メタタグ」の場合は meta 属性を表示。	(の疑い)	Condition.verificationStatus.coding.code	「verificationStatus=Unconfirmed」の場合、患者名の後に「(の疑い)」を表示。ただし、修飾語コード→2700001(の疑い)が設定されている場合は横並びで表示しない。	診断開始日	Condition.onsetDate/Time	「日付は「YYYY 年 YYYY 年 MM 月」/「YYYY 年 MM 月 DD 日」/「YYYY 年 MM 月 DD 日 HH:mm:ss」の形式で表示。 「終日判別範囲なし」の場合。	終了日	Condition.abatementDate/Time	「日付は「YYYY 年 MM 月 DD 日」/「YYYY 年 MM 月 DD 日 HH:mm:ss」の形式で表示。 「終了日が入っている臨床情報は終了日欄に記載」。	主病名	Condition.extension:C5_DiagnosisType.coding.code	「Principal」が設定されている場合、臨床情報の先に「主病名」と表示。	告知状況	Condition.meta.tag:uninformed.code	「meta.tag=UNINFORMED」が設定されている場合は、「未告知」と表示。 告知状況が「2」に設定されているケースについては、PDR 範囲上、本項目の告知名称は「患者告知済み」と変更され、meta.tag=UNINFORMED が設定されている場合は「×」と表示されます。なお、XML レイアウトにおける告知のロジックは変更ありません。	臨床的状態	Condition.clinicalStatus.coding.code	「status」が「active」、「onhold」、「remission」状態、remission 状態に設定されている場合は「【】」と表示。	診断修飾語	Bundle.identifier.value 要素の先頭 10 桁	「修飾語」に基づき値を設定。修飾語が複数ある場合は、修飾語が複数ある場合と異なる修飾語には、その優先順位に【】を付与。 「修飾語が複数ある場合」の修飾語は、修飾語の優先順位に【】を付与して表示されている場合は修飾語の修飾語名を表示。
出力項目	FHIRPath	備考																														
患者名	Condition.verificationStatus.coding.code	「Unconfirmed(未確認)」、「Confirmed(確認済み)」の臨床情報のみを臨床情報一覧のリストとして表示。 「病名有理番号コード」の表示名称(display)値を表示。 「診断修飾語」+「診断名」+「診断修飾語」の形式で出力。修飾語が複数ある場合は横並びし、斜字は MEANS の接続詞区分に準拠。 「メタタグ」の場合は meta 属性を表示。																														
(の疑い)	Condition.verificationStatus.coding.code	「verificationStatus=Unconfirmed」の場合、患者名の後に「(の疑い)」を表示。ただし、修飾語コード→2700001(の疑い)が設定されている場合は横並びで表示しない。																														
診断開始日	Condition.onsetDate/Time	「日付は「YYYY 年 YYYY 年 MM 月」/「YYYY 年 MM 月 DD 日」/「YYYY 年 MM 月 DD 日 HH:mm:ss」の形式で表示。 「終日判別範囲なし」の場合。																														
終了日	Condition.abatementDate/Time	「日付は「YYYY 年 MM 月 DD 日」/「YYYY 年 MM 月 DD 日 HH:mm:ss」の形式で表示。 「終了日が入っている臨床情報は終了日欄に記載」。																														
主病名	Condition.extension:C5_DiagnosisType.coding.code	「Principal」が設定されている場合、臨床情報の先に「主病名」と表示。																														
告知状況	Condition.meta.tag:uninformed.code	「meta.tag=UNINFORMED」が設定されている場合は、「未告知」と表示。 告知状況が「2」に設定されているケースについては、PDR 範囲上、本項目の告知名称は「患者告知済み」と変更され、meta.tag=UNINFORMED が設定されている場合は「×」と表示されます。なお、XML レイアウトにおける告知のロジックは変更ありません。																														
臨床的状態	Condition.clinicalStatus.coding.code	「status」が「active」、「onhold」、「remission」状態、remission 状態に設定されている場合は「【】」と表示。																														
診断修飾語	Bundle.identifier.value 要素の先頭 10 桁	「修飾語」に基づき値を設定。修飾語が複数ある場合は、修飾語が複数ある場合と異なる修飾語には、その優先順位に【】を付与。 「修飾語が複数ある場合」の修飾語は、修飾語の優先順位に【】を付与して表示されている場合は修飾語の修飾語名を表示。																														

技術解説書2.1.0版変更項目

技術解説書の該当箇所			技術解説書の該当箇所																																															
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ																																													
17-	-	-	あり	p79	<table border="1"> <thead> <tr> <th>出力項目</th> <th>FHIRPath</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感態値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【出力制御】</td> <td>Observation.status.coding.code</td> <td>-「preliminary」(暫定結果報告)、「final」(最終結果報告)、「corrected」(訂正報告)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -結果判別値は「0」に設定。 -結果判別値は「0」に設定。</td> </tr> <tr> <td>検査有効日時</td> <td>Observation.effectiveDateTime</td> <td>-日付は「YYYY年MM月DD日」または「YYYY年MM月DD日hh時mm分」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。</td> </tr> <tr> <td>検査項目</td> <td>Observation.code</td> <td>-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。</td> </tr> <tr> <td>基準値</td> <td>(数値結果の下限値) Observation.referenceRange.low.value +Observation.referenceRange.low.unit (数値結果の上限値) Observation.referenceRange.high.value +Observation.referenceRange.high.unit (定性結果) Observation.referenceRange.text</td> <td>-数値結果の場合、「low.value」+「+」+「high.value」+「high.unit」の形式で表示。 -「low.unit」と「high.unit」が同一の場合は、「low.unit」を省略。 -数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。</td> </tr> <tr> <td>検査結果</td> <td>(測定値) Observation.value.valueQuantity.value +Observation.value.valueQuantity.comparator +Observation.value.valueQuantity.unit (定性値) Observation.value.valueCodeableConcept.coding.display</td> <td>-数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。</td> </tr> <tr> <td>(評価)</td> <td>Observation.interpretation.coding.code</td> <td>-「N」(正常)、「I」(異常)を示す。 -「Normal」は記述されていても表示しない。</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関名</td> <td>Bundle.identifier.value</td> <td>-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。</td> </tr> <tr> <td>患者共有済み</td> <td>Observation.meta.tags.pis.code</td> <td>-「meta.tag」が設定されている場合は、「0」を表示。 -「meta.tag」が設定されていない場合は、「1」を表示。</td> </tr> <tr> <td>差別アレルギー等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【出力制御】</td> <td>AllergyIntolerance.clinicalStatus.coding.code</td> <td>-「active」(有効)の差別アレルギー等のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。</td> </tr> <tr> <td>登録日</td> <td>AllergyIntolerance.recordedDate</td> <td>-日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。</td> </tr> </tbody> </table>	出力項目	FHIRPath	備考	感態値			【出力制御】	Observation.status.coding.code	-「preliminary」(暫定結果報告)、「final」(最終結果報告)、「corrected」(訂正報告)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -結果判別値は「0」に設定。 -結果判別値は「0」に設定。	検査有効日時	Observation.effectiveDateTime	-日付は「YYYY年MM月DD日」または「YYYY年MM月DD日hh時mm分」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。	検査項目	Observation.code	-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。	基準値	(数値結果の下限値) Observation.referenceRange.low.value +Observation.referenceRange.low.unit (数値結果の上限値) Observation.referenceRange.high.value +Observation.referenceRange.high.unit (定性結果) Observation.referenceRange.text	-数値結果の場合、「low.value」+「+」+「high.value」+「high.unit」の形式で表示。 -「low.unit」と「high.unit」が同一の場合は、「low.unit」を省略。 -数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。	検査結果	(測定値) Observation.value.valueQuantity.value +Observation.value.valueQuantity.comparator +Observation.value.valueQuantity.unit (定性値) Observation.value.valueCodeableConcept.coding.display	-数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。	(評価)	Observation.interpretation.coding.code	-「N」(正常)、「I」(異常)を示す。 -「Normal」は記述されていても表示しない。	登録医療機関名	Bundle.identifier.value	-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。	患者共有済み	Observation.meta.tags.pis.code	-「meta.tag」が設定されている場合は、「0」を表示。 -「meta.tag」が設定されていない場合は、「1」を表示。	差別アレルギー等			【出力制御】	AllergyIntolerance.clinicalStatus.coding.code	-「active」(有効)の差別アレルギー等のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。	登録日	AllergyIntolerance.recordedDate	-日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。						
出力項目	FHIRPath	備考																																																
感態値																																																		
【出力制御】	Observation.status.coding.code	-「preliminary」(暫定結果報告)、「final」(最終結果報告)、「corrected」(訂正報告)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -結果判別値は「0」に設定。 -結果判別値は「0」に設定。																																																
検査有効日時	Observation.effectiveDateTime	-日付は「YYYY年MM月DD日」または「YYYY年MM月DD日hh時mm分」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。																																																
検査項目	Observation.code	-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。																																																
基準値	(数値結果の下限値) Observation.referenceRange.low.value +Observation.referenceRange.low.unit (数値結果の上限値) Observation.referenceRange.high.value +Observation.referenceRange.high.unit (定性結果) Observation.referenceRange.text	-数値結果の場合、「low.value」+「+」+「high.value」+「high.unit」の形式で表示。 -「low.unit」と「high.unit」が同一の場合は、「low.unit」を省略。 -数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。																																																
検査結果	(測定値) Observation.value.valueQuantity.value +Observation.value.valueQuantity.comparator +Observation.value.valueQuantity.unit (定性値) Observation.value.valueCodeableConcept.coding.display	-数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。																																																
(評価)	Observation.interpretation.coding.code	-「N」(正常)、「I」(異常)を示す。 -「Normal」は記述されていても表示しない。																																																
登録医療機関名	Bundle.identifier.value	-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。																																																
患者共有済み	Observation.meta.tags.pis.code	-「meta.tag」が設定されている場合は、「0」を表示。 -「meta.tag」が設定されていない場合は、「1」を表示。																																																
差別アレルギー等																																																		
【出力制御】	AllergyIntolerance.clinicalStatus.coding.code	-「active」(有効)の差別アレルギー等のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。																																																
登録日	AllergyIntolerance.recordedDate	-日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。																																																
17-	-	-	あり	p80	<table border="1"> <thead> <tr> <th>出力項目</th> <th>FHIRPath</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製剤名</td> <td>AllergyIntolerance.code</td> <td>-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。</td> </tr> <tr> <td>重症度</td> <td>AllergyIntolerance.criticality</td> <td>-「高」(高)、「中」(中)、「低」(低)を示す。 -「criticality」が設定されている場合は、「高」を表示。 -「criticality」が設定されていない場合は、「中」を表示。</td> </tr> <tr> <td>症状</td> <td>AllergyIntolerance.reaction.manifestation</td> <td>-「検査項目番号」の表示形式は「display」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関名</td> <td>Bundle.identifier.value</td> <td>-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。</td> </tr> <tr> <td>その他アレルギー等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【出力制御】</td> <td>AllergyIntolerance.clinicalStatus.coding.code</td> <td>-「active」(有効)の差別アレルギー等のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。</td> </tr> <tr> <td>登録日</td> <td>AllergyIntolerance.recordedDate</td> <td>-日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。</td> </tr> <tr> <td>アレルギー物質</td> <td>AllergyIntolerance.code</td> <td>-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。</td> </tr> <tr> <td>重症度</td> <td>AllergyIntolerance.criticality</td> <td>-「高」(高)、「中」(中)、「低」(低)を示す。 -「criticality」が設定されている場合は、「高」を表示。 -「criticality」が設定されていない場合は、「中」を表示。</td> </tr> <tr> <td>症状</td> <td>AllergyIntolerance.reaction.manifestation</td> <td>-「検査項目番号」の表示形式は「display」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関名</td> <td>Bundle.identifier.value</td> <td>-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。</td> </tr> <tr> <td>検査</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【出力制御】</td> <td>Observation.status.coding.code</td> <td>-「preliminary」(暫定結果報告)、「final」(最終結果報告)、「corrected」(訂正報告)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -結果判別値は「0」に設定。 -結果判別値は「0」に設定。</td> </tr> <tr> <td>検査項目</td> <td>Observation.code</td> <td>-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。</td> </tr> </tbody> </table>	出力項目	FHIRPath	備考	製剤名	AllergyIntolerance.code	-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。	重症度	AllergyIntolerance.criticality	-「高」(高)、「中」(中)、「低」(低)を示す。 -「criticality」が設定されている場合は、「高」を表示。 -「criticality」が設定されていない場合は、「中」を表示。	症状	AllergyIntolerance.reaction.manifestation	-「検査項目番号」の表示形式は「display」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。	登録医療機関名	Bundle.identifier.value	-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。	その他アレルギー等			【出力制御】	AllergyIntolerance.clinicalStatus.coding.code	-「active」(有効)の差別アレルギー等のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。	登録日	AllergyIntolerance.recordedDate	-日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。	アレルギー物質	AllergyIntolerance.code	-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。	重症度	AllergyIntolerance.criticality	-「高」(高)、「中」(中)、「低」(低)を示す。 -「criticality」が設定されている場合は、「高」を表示。 -「criticality」が設定されていない場合は、「中」を表示。	症状	AllergyIntolerance.reaction.manifestation	-「検査項目番号」の表示形式は「display」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。	登録医療機関名	Bundle.identifier.value	-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。	検査			【出力制御】	Observation.status.coding.code	-「preliminary」(暫定結果報告)、「final」(最終結果報告)、「corrected」(訂正報告)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -結果判別値は「0」に設定。 -結果判別値は「0」に設定。	検査項目	Observation.code	-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。
出力項目	FHIRPath	備考																																																
製剤名	AllergyIntolerance.code	-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。																																																
重症度	AllergyIntolerance.criticality	-「高」(高)、「中」(中)、「低」(低)を示す。 -「criticality」が設定されている場合は、「高」を表示。 -「criticality」が設定されていない場合は、「中」を表示。																																																
症状	AllergyIntolerance.reaction.manifestation	-「検査項目番号」の表示形式は「display」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。																																																
登録医療機関名	Bundle.identifier.value	-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。																																																
その他アレルギー等																																																		
【出力制御】	AllergyIntolerance.clinicalStatus.coding.code	-「active」(有効)の差別アレルギー等のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。																																																
登録日	AllergyIntolerance.recordedDate	-日付は「YYYY年MM月DD日」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。																																																
アレルギー物質	AllergyIntolerance.code	-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。																																																
重症度	AllergyIntolerance.criticality	-「高」(高)、「中」(中)、「低」(低)を示す。 -「criticality」が設定されている場合は、「高」を表示。 -「criticality」が設定されていない場合は、「中」を表示。																																																
症状	AllergyIntolerance.reaction.manifestation	-「検査項目番号」の表示形式は「display」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。 -「LAC」(酵素活性)の場合は「test」を省略。																																																
登録医療機関名	Bundle.identifier.value	-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。																																																
検査																																																		
【出力制御】	Observation.status.coding.code	-「preliminary」(暫定結果報告)、「final」(最終結果報告)、「corrected」(訂正報告)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -結果判別値は「0」に設定。 -結果判別値は「0」に設定。																																																
検査項目	Observation.code	-「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -「LAC」(酵素活性)または「LAC」(酵素活性)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。																																																
17-	-	-	あり	p81	<table border="1"> <thead> <tr> <th>出力項目</th> <th>FHIRPath</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採取日時</td> <td>Observation.effectiveDateTime</td> <td>-日付は「YYYY年MM月DD日」または「YYYY年MM月DD日hh時mm分」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。</td> </tr> <tr> <td>実施機関</td> <td>Bundle.identifier.value</td> <td>-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。</td> </tr> <tr> <td>基準値</td> <td>(数値結果の下限値) Observation.referenceRange.low.value +Observation.referenceRange.low.unit (数値結果の上限値) Observation.referenceRange.high.value +Observation.referenceRange.high.unit (定性結果) Observation.referenceRange.text</td> <td>-数値結果の場合、「low.value」+「+」+「high.value」+「high.unit」の形式で表示。 -「low.unit」と「high.unit」が同一の場合は、「low.unit」を省略。 -数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。</td> </tr> <tr> <td>結果</td> <td>(測定値) Observation.value.valueQuantity.value +Observation.value.valueQuantity.comparator +Observation.value.valueQuantity.unit (定性値) Observation.value.valueCodeableConcept.coding.display</td> <td>-数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。</td> </tr> <tr> <td>(評価)</td> <td>Observation.interpretation.coding.code</td> <td>-「N」(正常)、「I」(異常)を示す。 -「Normal」は記述されていても表示しない。</td> </tr> <tr> <td>(ステータス)</td> <td>Observation.status.coding.code</td> <td>-「preliminary」(暫定結果報告)、「final」(最終結果報告)、「corrected」(訂正報告)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -結果判別値は「0」に設定。 -結果判別値は「0」に設定。</td> </tr> </tbody> </table>	出力項目	FHIRPath	備考	採取日時	Observation.effectiveDateTime	-日付は「YYYY年MM月DD日」または「YYYY年MM月DD日hh時mm分」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。	実施機関	Bundle.identifier.value	-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。	基準値	(数値結果の下限値) Observation.referenceRange.low.value +Observation.referenceRange.low.unit (数値結果の上限値) Observation.referenceRange.high.value +Observation.referenceRange.high.unit (定性結果) Observation.referenceRange.text	-数値結果の場合、「low.value」+「+」+「high.value」+「high.unit」の形式で表示。 -「low.unit」と「high.unit」が同一の場合は、「low.unit」を省略。 -数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。	結果	(測定値) Observation.value.valueQuantity.value +Observation.value.valueQuantity.comparator +Observation.value.valueQuantity.unit (定性値) Observation.value.valueCodeableConcept.coding.display	-数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。	(評価)	Observation.interpretation.coding.code	-「N」(正常)、「I」(異常)を示す。 -「Normal」は記述されていても表示しない。	(ステータス)	Observation.status.coding.code	-「preliminary」(暫定結果報告)、「final」(最終結果報告)、「corrected」(訂正報告)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -結果判別値は「0」に設定。 -結果判別値は「0」に設定。																								
出力項目	FHIRPath	備考																																																
採取日時	Observation.effectiveDateTime	-日付は「YYYY年MM月DD日」または「YYYY年MM月DD日hh時mm分」の形式で表示。 -結果判別値は「0」に設定。																																																
実施機関	Bundle.identifier.value	-医療機関等マスタに基づき施設名称を表示。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。 -検査項目日付時点で発生している医療機関には、名称の先頭に【製】を付与。																																																
基準値	(数値結果の下限値) Observation.referenceRange.low.value +Observation.referenceRange.low.unit (数値結果の上限値) Observation.referenceRange.high.value +Observation.referenceRange.high.unit (定性結果) Observation.referenceRange.text	-数値結果の場合、「low.value」+「+」+「high.value」+「high.unit」の形式で表示。 -「low.unit」と「high.unit」が同一の場合は、「low.unit」を省略。 -数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。																																																
結果	(測定値) Observation.value.valueQuantity.value +Observation.value.valueQuantity.comparator +Observation.value.valueQuantity.unit (定性値) Observation.value.valueCodeableConcept.coding.display	-数値結果の場合、「comparator」+「value」+「unit」の形式で表示。 -検査結果単位「unit」は各検査項目ごとに異なるため、同じ検査項目に対して異なる検査結果となる場合がある。																																																
(評価)	Observation.interpretation.coding.code	-「N」(正常)、「I」(異常)を示す。 -「Normal」は記述されていても表示しない。																																																
(ステータス)	Observation.status.coding.code	-「preliminary」(暫定結果報告)、「final」(最終結果報告)、「corrected」(訂正報告)の検査結果のみを臨床検査一覧のレコードとして表示。 -結果判別値は「0」に設定。 -結果判別値は「0」に設定。																																																

技術解説書2.1.0版変更項目				技術解説書の該当箇所				
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ			
17-			あり	p101	<p>(4) アレルギー等情報の確定状況 (verificationStatus) の扱い方針 verificationStatus 要素については、当面の間は利用しません。FHIR 仕様上、verificationStatus は「confirmed (確定)」「unconfirmed (未確定)」「refuted (否定済み)」などの状態を表現できますが、現時点ではこの要素を XML レイアウトや PDF 帳票ファイルに表示しません。したがって、AllergyIntolerance リソースを登録する際に verificationStatus 要素を省略しても、当面の間はバリデーションエラーにはなりません。</p> <p>そのため、アレルギー等情報を本サービスへ登録する際は、verificationStatus 要素を設定しないことを推奨します。</p> <p>なお、clinicalStatus を「active」で設定しているアレルギー等情報が表示対象となるため、clinicalStatus を「active」で設定した場合、verificationStatus が「confirmed (確定)」「unconfirmed (未確定)」「refuted (否定済み)」のいずれであっても、XML レイアウトおよび PDF 帳票ファイルには当該患者のアレルギー等情報として表示されます。そのため、アレルギーが否定された場合は、当該アレルギー等情報を削除してください。</p>			
17-			あり	p125	<p>■ 未告知フラグの取扱いについて</p> <p>本サービスにおいて、未告知フラグは傷病名にのみ設定することができます。</p> <p>患者に共有する傷病名については、電子カルテ内で管理している病名リストから自動的に共有すると、医師等が患者に対して十分に説明していない情報がマイナポータルにて表示されることで、患者に誤解を与える可能性があります。そのため、患者へ共有する傷病名は、患者が誤解なく情報を受け取れることを医師等が判断した傷病名とします。</p> <p>その際、患者への共有が必要な傷病名については未告知フラグを設定せず、患者へ共有しない傷病名は未告知フラグを設定してください。未告知フラグを設定する場合は、Condition リソースの meta.tag 要素を「UNINFORMED」に設定してください。</p> <p>例えば、医師等が「患者共有ボタン」を押下すること等の実装をすることで、患者へ共有する傷病名を選択できるようにしてください。その際、医師等が患者へ共有すると選択した傷病名は該当の Condition リソースに「未告知フラグ」を設定せず、患者へ共有しない傷病名は該当の Condition リソースに「未告知フラグ」を設定してください。</p> <p>なお、未告知フラグが付与された傷病名については、全国の医療機関等が取得・閲覧する際、傷病名に併せて未告知である旨を表示します。</p> <p>一方で、患者本人がマイナポータルで閲覧する場合には、未告知フラグが付与された傷病名は、表示されない (未告知傷病名が存在すること自体も表示しない) ように制御を行います。</p> <p>また、未告知フラグのデフォルト設定については、全ての傷病名に対して未告知フラグを設定しない運用、全ての傷病名に対して未告知フラグを設定する運用、主傷病名のみ未告知フラグを設定しない運用等、各医療機関の運用に応じて定めてください。ただし、当該デフォルト設定は医療機関における運用上の便宜のために設けるものであり、必要に応じて医師等が個別に判断し、未告知フラグの設定を変更できるようにしてください。</p>			
17-			あり	p126	<p>■ 患者共有フラグの取扱いについて</p> <p>本サービスにおいて、患者共有フラグは感染症情報にのみ設定することができます。</p> <p>感染症の検査結果情報は病名と直結することもあり、明示的にその疾患の特徴や今後の治療方針等を医師から患者に対して十分に説明されていない情報がマイナポータルにて表示されることで、患者に誤解を与える可能性があります。そのため、患者へ検査結果の説明を実施した後など、患者が誤解なく情報を受け取れる状況であることを確認したうえで、当該 Observation リソースに対して「患者共有フラグ」を設定してください。患者共有フラグを設定する際は、Observation.meta.tag 要素に「PTS」を記述します。「患者共有フラグ」が設定された感染症情報は、他医療機関等および患者本人へ共有されます。</p> <p>一方で、「患者共有フラグ」が設定されていない感染症情報は、他医療機関等のみ共有されます。「患者共有フラグ」が設定されていない感染症情報を他医療機関等が取得・閲覧する際には、患者のマイナポータル上に表示されていない旨も確認できます。</p> <p>一般的な「患者共有フラグ」設定の流れとしては、感染症検査実施後、検査結果が電子カルテに登録された際に「患者共有フラグ」を設定せずに本サービスにまず登録し、患者への説明後などで「患者共有ボタン」等が押下されたタイミングで「患者共有フラグ」を該当の Observation リソースに設定して当該情報を更新してください。</p>			
18	臨床情報一覧に表示される登録医療機関名のパスの変更 なお、継承の届出が医療機関等向け総合ポータルサイトにて行われているときは承継先の医療機関名称が表示される。	臨床情報一覧の登録医療機関名のパスを「Bundle.identifier.value要素の先頭10桁」に変更する。	あり	p78	<table border="1"> <tr> <td>登録医療機関名</td> <td>Bundle.identifier.value 要素の先頭 10 桁</td> <td>・医療機関マスタに基づき傷病名共有表へ、 ・検査出力ポイントで集まっている医療機関 には、名称の先頭に【R】を付与。 ・患者の届出の登録医療機関が総合ポータル サイトにて行われているときは承継先の医療機関 名称が表示。</td> </tr> </table>	登録医療機関名	Bundle.identifier.value 要素の先頭 10 桁	・医療機関マスタに基づき傷病名共有表へ、 ・検査出力ポイントで集まっている医療機関 には、名称の先頭に【R】を付与。 ・患者の届出の登録医療機関が総合ポータル サイトにて行われているときは承継先の医療機関 名称が表示。
登録医療機関名	Bundle.identifier.value 要素の先頭 10 桁	・医療機関マスタに基づき傷病名共有表へ、 ・検査出力ポイントで集まっている医療機関 には、名称の先頭に【R】を付与。 ・患者の届出の登録医療機関が総合ポータル サイトにて行われているときは承継先の医療機関 名称が表示。						
19	臨床情報登録のリアルタイム処理の推奨	臨床情報の登録について、リアルタイム処理を推奨する。	あり	p74	<p>■ 臨床情報の登録タイミングおよび留意事項</p> <p>臨床情報の具体的な登録タイミングは、医療機関の規模や診療特性を踏まえて各医療機関の判断に委ねるものとします。外来診療における登録タイミングの目安は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 傷病名：本サービスへ登録する際に用いる病名リストを登録・更新したタイミング ● 薬剤アレルギー等、その他アレルギー等：本サービスへ登録する際に用いるアレルギー等の入力欄に情報を登録・更新したタイミング ● 検査、感染症：本サービスへ登録する検査結果を電子カルテに登録した、または、検査結果が検査システム等から電子カルテに進携されたタイミング <p>なお、上記のタイミングでの即時登録に限らず、夜間にまとめて登録いただくことも可能ですが、受診日当日における他医療機関や薬局で臨床情報を閲覧するケースを踏まえ、臨床情報の登録はリアルタイム処理を推奨します。ただし、リアルタイム処理の実行頻度によっては医療機関内のシステム運用に影響が出る可能性があるため、その点を考慮し設計してください。</p> <p>一方、入院中に発生した臨床情報については、入院中に他医療機関等で当該情報を参照する必要があるケースが少ないことを踏まえ、「退院日当日中 (夜間登録可)」までに登録してください。ただし、入院中に実施した検査や感染症検査のうち、退院日までに結果が確定しないものについては、検査結果を電子カルテに登録した、または検査システム等から電子カルテに進携されたタイミングで登録するものとします。</p> <p>また、本サービスの利用にあたっては、医師等の業務負担の軽減に十分配慮する必要があります。たとえば、患者のカルテ画面を閉じたタイミングで自動的に登録する仕組みや、検査結果がシステムに取り込まれた時点で自動登録を行う仕組みなどが考えられます。ただし、運用上のトラブルを回避するため、医師等の判断により手動登録を選択できるようにすることも可能です。</p>			

技術解説書2.1.0版変更項目				技術解説書の該当箇所	
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ
20	健診結果報告書・臨床情報における登録履歴照会機能の取り扱い	健診結果報告書・臨床情報の登録履歴照会機能は以下のユースケースにおいて利用するため、実装いただく必要がある。 <履歴照会機能の利用ケース> 健診文書・臨床情報について、本サービスへのデータの保存期間を超過したBundle.identifierの取消要求を行うと、本サービス上にデータが保存されていないため、エラーとなる。そのため、取消要求を行う際は、当該情報が本サービスにデータが保存されているかを登録情報の履歴照会機能にて確認し、データが存在している場合のみ取消要求を行う。	あり	p154	<p>■ 本機能および対応する外部インターフェースの実装要否について 文書情報の照会ができる電子カルテシステム等上の機能および、当該機能のための外部インターフェースについては、文書の修正可否判断や、紹介先医療機関が当該文書を取得済みかどうかといった診療連携に必要な情報管理の観点から、電子カルテシステム等における実装が必須です。</p> <p>また、健診文書および臨床情報についても、自施設で登録した健診データ・臨床情報データが本サービスのデータベースに保存され、他医療機関等へ共有されている情報かどうか把握できます。1つのBundle.identifierに紐づいた情報を全量削除する場合に、当該情報が本サービスのデータベースに保存されている(保存期間であるか)を確認するために、登録情報の履歴照会を利用する観点から電子カルテシステム等における実装が必須です。1つのBundle.identifierに紐づいた情報を全量削除する場合についての詳細は「6.2各機能の説明」の「機能15:登録情報の削除・更新」を参照ください。</p>
20	-	-	あり	p156	<p>■ 取消要求の取扱い 取消要求は、誤って登録した情報を削除する際に使用します。取消要求には新しいデータを伴いません。取消処理も1リクエストにつき1文書または1報告(臨床情報)単位で実施します。 なお、一度取消要求を行ったBundle.identifierを再利用することはできません。取消済みの識別子を使用して新規登録を行うことは仕様上認められていません。 また、健診文書・臨床情報においては本サービスへのデータの保存期間を超過して取消要求を行うと、本サービス上にデータが保存されていないため、エラーとなります。そのため、取消要求を行う際は、当該情報が本サービスにデータが保存されているかを登録情報の履歴照会機能にて確認し、データが存在している場合のみ取消要求を行ってください。</p> <p>図 35.臨床情報の取消要求のフロー</p>
21	閲覧保留の取り扱い	診療情報提供書における同意区分については、「閲覧保留」を削除し、「同意あり」のみとする方針とする。また、同意取得状況を入力・確認するためのUIを用意いただくことや、電子カルテシステム等内に同意情報を保存することは必ずしも必要ない方針とする。	あり	p2-3	<p>4. 診療情報提供書における同意区分「閲覧保留」の削除</p> <p>2</p> <p>診療情報提供書における同意区分については、「閲覧保留」を削除しました。 「閲覧保留」は現行の業務プロセスに存在しない概念であり、医療機関の運用上の混乱を招くおそれがあることから、本サービスに登録する診療情報提供書の同意区分は「同意あり」のみとする方針としました。</p>
22	同意なしの文書(閲覧保留文書)を登録エラーとするアドオンチェック	閲覧保留の仕組みを使わないという方針に基づき、閲覧保留文書が誤って送られてこないように同意なしの文書を登録エラーとするアドオンチェックを追加する。	なし	p132	<p>■ 文書情報における同意取得について 本サービスへ文書情報を登録する前に、紹介先医療機関に電子的に文書情報を送信してもよいかを口頭等で患者同意が取得されていることが前提のため、同意取得状況を人力・確認するためのUIを用意いただくことや、電子カルテシステム等内に同意情報を保存することは必ずしも必要ありません。要求電文内に、患者同意情報(同意あり)を埋め込む仕組みがあれば機能実装内容としては問題ありません。</p>
23	医療従事者のUXを考慮した、文書更新時の仕様の明記	変更要求を行った結果、紹介先医療機関が取得済みであった場合であったとしても、医療従事者が文書を新規作成しなおすことなく新しい文書IDを生成して新規登録できるような仕様としていただきたい旨を追記。 その際、更新した文書を再度紹介先医療機関へ送付したことが、紹介元医療機関の医療従事者にて把握できるような実装を推奨する。	あり	p156-157	<p>■ リアルタイム取得環境における文書更新の取扱い 紹介先医療機関がポーリング処理等により文書情報をほぼリアルタイムで取得する実装を行っている場合、変更要求を行う前に紹介先側で文書が取得されてしまう可能性があります。そのようなケースでは、変更要求が利用できないため、別の文書として新しい文書情報ID(Bundle.identifier)を生成し、新規登録ください。 変更要求を行った結果、紹介先医療機関が取得済みで要求がエラーとなった場合でも、医療従事者</p> <p>156</p> <p>が文書を新規作成しなおすことが無いように、医療機関等システムで新しい文書IDを生成して新規登録要求を行う処理ができるような仕様としてください。 その際に、紹介先医療機関が既に文書を取得していたために更新した文書を再度紹介先医療機関へ送付したことが、紹介元医療機関の医療従事者にて把握できるように実装とすることが望まれます。</p>
24	診療情報提供書登録エラー時のPDF出力機能の推奨	資格情報の誤り等により診療情報提供書の登録が行えない場合、本サービス用に作成したPDFを紙で出力する機能を備えることを推奨する。	あり	p152	<p>■ 診療情報提供書でエラーが生じた際の留意事項 資格情報の誤り等により診療情報提供書の登録においてエラーが発生し、エラーメッセージに基づいて医療従事者が修正を直ちに行えない場合、紹介先医療機関への診療情報提供書の送付の運用に影響が生じます。そのため、登録エラーにより本サービスでの診療情報提供書の送付が困難な場合でも対応できるよう、診療情報提供書のPDF出力機能を備え、必要に応じて紙運用へ切り替えられるよう実装することを推奨します。</p>

技術解説書2.1.0版変更項目				技術解説書の該当箇所	
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ
25	診療情報提供書・退院時サマリーのPDFセクションの登録方針の補足説明	診療情報提供書・退院時サマリーのPDFセクションについて、文書全体のPDFデータが複数ページになる場合においても、1つのDocumentReferenceリソースに格納する。PDFセクションに含まれるDocumentReferenceリソースは原則1つのリソースとなることを明記。	あり	p48	(5) 添付情報 (DocumentReference リソース) の取扱い 診療情報提供書および退院時サマリーに添付ファイルを含む場合は、DocumentReference リソースを使用します。 添付ファイルが複数存在する場合には、それぞれの添付ファイルに対応する DocumentReference リソースを個別に作成し、1つの DocumentReference リソースからは1つの添付ファイルのみを参照する構成とさせていただきます。 作成した各 DocumentReference リソースは、添付する情報の種類に応じて格納先のセクションを区別します。文書全体の PDF データ (詳細は本章の「Narrative と構造化データの整合性および文書範囲に関する留意事項」、「診療情報提供書の PDF サンプルと FHIR 記述箇所との対応関係の参考例」を参照) は、「PDF セクション」に格納します。なお、文書全体の PDF データが複数ページとなる場合においても、1つの DocumentReference リソースに格納ください。PDF セクションに含まれる DocumentReference リソースは原則1つのリソースになります。 一方、キー画像、検査レポート、看護サマリーなど、補助的な添付資料については「添付情報セクション」に格納してください。 なお、本サービスにおいて添付可能なファイル形式は、PNG/JPEG/TIFF/PDF 形式のみです。 各 DocumentReference リソースでは、DocumentReference.content.attachment.url 要素に添付ファイルのファイル名を格納します。この URL は RFC 1738 "Uniform Resource Locators (URL)" の規定に従い、文字列の先頭を file:/// から開始しなければなりません。また、後続のファイル名部分にはバース区切り文字 (「/」など) を含めてはならない点に注意してください。なお、添付ファイルのファイル名の形式および使用可能な文字種・文字数については、次項「添付ファイル名の形式および使用可能な文字種・文字数」で詳細を示します。
26	自施設宛文書一覧時のタイムアウトによるワーニングの追加	「自施設宛文書情報一覧取得機能(CIS-IF-111/112)」及び「文書情報検索機能(QQS-IF-CIS07/08)」において、タイムアウトによるワーニングを追加する。	あり	p177	(10) 自施設宛文書情報一覧の取得時に伴う Warning に関する案内例 自施設宛での文書一覧について、取得件数が多く、既定の時間内に条件を取得できなかった場合は、電子カルシステム等に Warning を表示します。併せて、検索条件に合致した全ての情報を取得できていない可能性があるため、必要に応じて検索条件を改めて再度検索する必要がある旨を、当該画面上で案内します。 
27	FHIRプロファイルの多重の修正 (診療情報提供書)	図6.診療情報提供書のFHIR Document構成において、CLINS1.13.0版に合わせ、備考・連絡情報セクション・添付情報セクション・PDFセクション・DocumentReferenceの多重度を修正。	あり	p42	
28	FHIRプロファイルの多重の修正 (退院時サマリー)	図7.退院時サマリーのFHIR Document構成において、CLINS1.13.0版に合わせ、添付情報セクション・PDFセクション・退院時診断セクションのConditionリソースの多重度を修正。	あり	p42	
29	診療情報提供書・退院時サマリーのNarrative記載の際に利用できるHTML要素 (タグ) のルールを明記	診療情報提供書・退院時サマリーについて、Composition.section要素配下の各構造情報セクションおよび備考・連絡情報セクションのtext部分に Narrativeとして記述する場合のHTML要素のルールを規定する。	なし	p45	Narrative は、人が読んで理解できる文章として、HTML の簡略形式で記述します。これは、HTML の中でごく基本的な構造だけを使うシンプルな書き方で、FHIR仕様 (R4 §3.1.1.1 Narrative) および HTML 4.0 標準 (第7~11章および第15章) で定められたルールに基づいています。つまり、段落・箇条書き・強調など、文章の構造を示すための最小限の HTML 要素のみを使用し、レイアウト調整や装飾、スクリプトなどの複雑な要素は使わないということです。 本サービスにおいては、どのシステムでも正しく表示され、データの互換性と可読性の確保が必要です。Narrative の目的は、見目を整えることではなく、文書内容を読みやすく、誤解なく伝えることにあります。 そのため、本サービスでは、使用できる HTML 要素は以下の基本的で単純なものに限定します。 【使用可能な HTML 要素】 • Narrative 全体を囲むルート要素 (必須): <div xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml"> • 段落: <p> • 箇条書き (番号なし): • 箇条書き (番号付き): • 箇条書き項目: • 改行: • 強調表示 (見出しや項目名など、意味的な強調に限定): 一方で、以下のような要素や属性は、表示環境によって再現性が損なわれるおそれがあるため、使用しないでください。 【使用禁止の HTML 要素・属性】 上記の使用可能な HTML 要素以外 例 • 表・レイアウト要素: <table>, <tr>, <td>, <th> • スタイル指定・装飾: <style>, , , <div style=""> • メディア・スクリプト関連: , <video>, <audio>, <script>

技術解説書2.1.0版変更項目				技術解説書の該当箇所																	
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ																
30	本サービスで取り扱う健診の考え方の見直し	本サービスでは、健診を実施する医療機関が、受診者ごとに適切な健診種別を選択する。ただし、医療機関にて本サービスへ登録しようとしている健診文書について、健診を実施する医療機関において健診種別を明確に区別できない場合は「保険者以外が行う特定健診等に相当する健診」として登録する方針とする。	あり	p61	<p>■ 健診種別の選択方法の考え方について</p> <p>本サービスでは、健診を実施する医療機関が、受診者ごとに適切な健診種別を選択する必要があります。健診種別の判定にあたっては、以下に示す選択フローおよびマトリクスを参照してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>保険者の補給資格者、福祉医療 (実施主体：保険者、後期高齢者健診等(特定健診))</th> <th>事業者 (実施主体：事業者)</th> <th>学卒者健診 (実施主体：学卒者の健診者)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30歳未満</td> <td>- 保険者が実施する特定健診等以外の健診</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>40歳以上74歳</td> <td>- 特定健診(特定健診) - 保険者が実施する特定健診等以外の健診</td> <td>- 事業者健診 (= 特定定期健康診断等)</td> <td>- 学卒者健診(学卒者健診)</td> </tr> <tr> <td>75歳以上</td> <td>- 後期高齢者健診(後期高齢者健診)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		保険者の補給資格者、福祉医療 (実施主体：保険者、後期高齢者健診等(特定健診))	事業者 (実施主体：事業者)	学卒者健診 (実施主体：学卒者の健診者)	30歳未満	- 保険者が実施する特定健診等以外の健診			40歳以上74歳	- 特定健診(特定健診) - 保険者が実施する特定健診等以外の健診	- 事業者健診 (= 特定定期健康診断等)	- 学卒者健診(学卒者健診)	75歳以上	- 後期高齢者健診(後期高齢者健診)		
	保険者の補給資格者、福祉医療 (実施主体：保険者、後期高齢者健診等(特定健診))	事業者 (実施主体：事業者)	学卒者健診 (実施主体：学卒者の健診者)																		
30歳未満	- 保険者が実施する特定健診等以外の健診																				
40歳以上74歳	- 特定健診(特定健診) - 保険者が実施する特定健診等以外の健診	- 事業者健診 (= 特定定期健康診断等)	- 学卒者健診(学卒者健診)																		
75歳以上	- 後期高齢者健診(後期高齢者健診)																				
30	-	-	あり	p63	<p>■ 保険者以外が行う特定健診等に相当する健診の取扱い</p> <p>本サービスでは、特定健診・後期高齢者健診と同等の項目構成を持つ健診であって、医療機関が独自に提供する健診についても、「保険者以外が行う特定健診等に相当する健診」として取り扱うことが可能です。これには、以下のような健診が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関が自費(自由診療)メニューとして提供する健診 医療機関が診療の一環として実施する、特定健診等と同項目の検査 <p>また、医療機関にて本サービスへ登録しようとしている健診文書について、健診を実施する医療機関において健診種別を明確に区別できない場合は「保険者以外が行う特定健診等に相当する健診」として登録してください。</p>																
31	健診結果報告書送付にあたっての患者同意のとり方の見直し	本サービスで健診結果報告書を登録する場合、現時点ではすべての健診に対し、保健者に対して情報を共有することについて、受診者本人の同意を取得する必要があります。必要となる方針とする。	なし	p64	<p>■ 健診結果報告書送付にあたっての患者同意のとり方</p> <p>本サービスに健診文書を登録する場合、現時点ではすべての健診に対し、「保健事業への活用のために、電子カルテ情報共有サービスを利用して、保険者に対して情報を共有すること」について、受診者本人の同意を取得する必要があります。同意は、口頭または健診に関する各種同意書等の書面を取得する方法を想定しております。本人の同意を得られた場合にのみ、本サービスへの登録対象とさせていただきます。同意を得る際の説明文(質問内容)は、以下の文言を用いることを推奨します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「保健事業への活用のために、電子カルテ情報共有サービスを利用して、社会保険診療報酬支払基金を通じてあなたが健診実施日に加入している保険者へ本健診結果を提供することに同意しますか。」</p> </div> <p>なお、「社会保険診療報酬支払基金」は今後「医療情報基盤・診療報酬審査支払機構」に名称変更予定ですので、医療機関と相談の上変更後の名称にも対応できるように予め準備しておいてください。</p>																
32	本サービス登録時の被保険者資格に係る枝番の扱い	電子カルテ情報共有サービス導入時に、医療機関内のシステム間で枝番を含む資格情報が正しく連携されるよう確認いただきたい旨を明記する。	あり	p124	<p>■ 枝番の扱い</p> <p>本サービスにおいては、後期高齢者医療制度および医療扶助の場合を除き、被保険者資格に係る枝番の付与が必須となります。レセプト請求やオンライン資格確認の場面では、枝番が必須ではないケースがありますが、本サービスでは患者を一意に識別するために枝番が不可欠であり、枝番を欠く番号では正確な識別ができません。そのため、枝番の付与がない状態で登録リクエストがされた場合、本サービス側ではエラーとして扱われます。必ず個人単位の枝番を含めた被保険者個人識別子を記述してください。</p> <p>また、被保険者個人識別子を他の院内医療機関システム(レセプトコンピュータ等)から連携された情報に基づいて設定する場合は、本サービスの導入時に、医療機関内のシステム間で枝番を含む資格情報が正しく連携されるように確認してください。</p>																
33	文書構成時のBundle.identifier整合性確保	文書構成時のBundle.identifierは、施設全体で整合性が取れた状態で管理・保存されている必要があり、本サービスにデータを送信するシステムで一元的に保存・管理する方法が推奨する旨を明記する。	あり	p192	<p>※ Bundle.identifier は、施設全体で整合性が取れた状態で管理・保存されている必要があります。その際、本サービスにデータを送信するシステムで一元的に保存・管理する方法が推奨されます。</p>																
34	FHIRデータに記録される医療機関コードが同一文字列であることのアドオンチェックの条件追加(新旧医療機関コード混在を許容する)	電子証明書とFHIRデータにおける医療機関コードの一致チェックにおける新旧紐づけ対応は既に実装済みであるが、当該対応の前提として、FHIRデータ内に記録されるデータ登録元医療機関コードが同一文字列であることのアドオンチェックを行った。一方で、FHIRデータ内に記録されるデータ登録元医療機関コードのなかでも、新旧の医療機関コードの混在が考えられることから、「同一文字列であることのアドオンチェック」のなかで、例外処理として新旧医療機関コードの混在を許容する仕組みを実装する。	あり	p122	<p>■ 保険医療機関番号変更時の新旧コードの取扱い(新旧紐づけ対応)</p> <p>開設者変更や移転等により保険医療機関番号が変更となった場合、継承の届出が医療機関等向け総合ポータルサイトにて行われているときは、当該医療機関の新旧の保険医療機関番号は同一の医療機関のものとなります。このとき、FHIR データ内部の、データ登録元の医療機関番号を設定する箇所が旧番号でも、引き続きデータ登録・更新を行うことが可能です。</p> <p>この仕組みにより、保険医療機関番号変更後も、旧コードで登録されたデータの整合性を保ちながら、運用を継続して行うことができます。</p> <p>なお、電子証明書(JWT)に設定する保険医療機関番号については、上記と異なり、旧番号は「承継元医療機関の廃止日から120日間」のみ設定可能となりますので留意ください。</p>																
35	保存期間を超過した臨床情報を医療機関が更新を実施しようとした際に対する改修	保存期間を超過した臨床情報を医療機関が更新を実施しようとした際に対応できるように、中央基盤で新規登録する。	あり	p155	<p>■ 変更要求(更新処理)の位置づけ</p> <p>変更要求は、登録済みデータの内容を正しい情報に置き換えるための処理です。変更要求を行う場合、変更前同一の Bundle.identifier を用いて再登録し、本サービス側で古いデータが新しいデータに置き換えられます。変更処理は1リクエストにつき1文書または1つの臨床情報(1報告)単位で行う必要があります。変更要求は実質的に「取消要求+正しい内容の新規登録要求」と同等であり、システム処理上はこれらの組み合わせで代替することも可能です。</p> <p>なお、一度本サービスに登録したのも変更要求により保存期限がアップデートされない等で保存期限を過ぎた臨床情報(1報告)は本サービス側で削除され、同時に当該臨床情報の Bundle.identifier も識別子として存在しないものとなります。保存期限を超過した臨床情報の Bundle.identifier で変更要求した場合、変更対象となる臨床情報がないため、当該変更要求は新規登録要求とみなされ登録処理がなされます。</p>																

技術解説書2.1.0版変更項目				技術解説書の該当箇所							
#	項目	概要	後方互換性有無	ページ番号	イメージ						
36	医療機関等における本番環境から接続検証環境へ接続できる仕組みの構築	医療機関におけるテスト実施方法を改善するために、接続先を切り替えずにリクエストするxmlファイルのファイル名をもとに自動で接続先の環境を差配する。	あり	p209-210	<p>209</p> <p>ありますが、令和8年9月より、医療機関等システムから送信するファイル名を送信先の環境ごとに変更することで本番環境への接続を中断することなく接続検証環境に接続し、運用テストを実施いただけます。詳細は、外部インターフェイス仕様書およびシステムページ向け運用テスト関連資料を確認ください。</p>						
37	マイナ在宅Web、マイナ資格確認アプリにおける臨床情報・健診結果報告書の閲覧同意の取得	マイナ在宅Web、マイナ資格確認アプリにおいて、臨床情報臨床情報・健診結果報告書の閲覧同意の取得を可能とする。	あり	p161	<p>■ 臨床情報・健診結果報告書の取得方法と取得期間</p> <p>臨床情報および健診結果報告書を取得する場合には、まず顔認証付きカードリーダー、マイナ在宅Web またはマイナ資格確認アプリによる患者の本人確認操作が必要です。受付後、本人同意の有無や同意日などを示す資格確認結果ファイル（OQS-IF-002）が、資格確認端末内の所定ディレクトリに格納されます。電子カルテシステム等は、この資格確認結果ファイルを取得することで、対象患者の閲覧同意内容を把握することができ、その同意内容に基づいて情報が参照可能かどうかを判断します。</p> <p>閲覧同意が得られている場合には、同意が行われた時点から24時間（ただし、マイナ在宅Web・マイナ資格確認アプリで患者本人が閲覧に同意した後、翌日23時59分まで（訪問診療等では計画に基づく診療が終了するまで））に限り、対象情報（臨床情報および健診結果報告書）について取得要求を行うことが可能となります。すなわち、電子カルテシステム等は、資格確認端末に格納される同意情報を適切に読み取り、その情報を根拠として本サービスへ閲覧要求ファイルを送信し、必要な情報をダウンロードすることが求められます。また、資格確認端末に自動格納される閲覧同意登録結果ファイルについて、電子カルテシステム等側で常時監視を行い、新たなファイルの生成を自動的に検知して取り込み機能を実装することが望ましいと考えられます。このような自動取込機能を備えることで、来院時に行われた閲覧同意が速やかに電子カルテシステム等に反映され、医師等が必要な情報を遅れなく確認できるようになります。特に、外来診療で迅速な判断が求められる場面において、同意情報が反映されるまでの遅延を最小限に抑える効果が期待できます。</p>						
38	本サービスへの登録時に用いるJSON形式のデータの文字コードにおけるUTF-8の推奨	本サービスへの登録時に用いるJSON形式のデータの文字コードは、「機能11：FHIR形式のデータ生成 ■ 文字コードおよび正規化方式に関する遵守事項」に示すとおり、UTF-8とであるため、臨床情報・健診結果報告書の取得時の文字コードもUTF-8とすることを強く推奨する。	あり	p143	<p>機能11：FHIR形式のデータ生成</p> <p>■ 対象範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>文書情報</th> <th>健診結果報告書</th> <th>臨床情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象</td> <td>対象</td> <td>対象</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 文字コードおよび正規化方式に関する遵守事項</p> <p>本サービスで取り扱う文字コードは、以下の要件を満たす必要があります。これらの要件は、コーディングシステムの display 値/text 値、Narrative 内の日本語テキストなど、すべての文字列に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字コードは UTF-8 (BOM 無) とすること。 送付するすべての Unicode 文字列は、必ず NFC (Normalization Form Canonical Composition) で正規化すること。 	文書情報	健診結果報告書	臨床情報	対象	対象	対象
文書情報	健診結果報告書	臨床情報									
対象	対象	対象									
38	-	-	あり	p162	<p>■ 臨床情報・健診結果報告書の取得時の文字コードについて</p> <p>臨床情報・健診結果報告書を取得する際の文字コードは、各医療機関等の資格確認端末の環境設定画面または外部インターフェイス OQS-IF-043 医療機関環境設定情報更新要求で、Shift_JIS または UTF-8 を選択できます。</p> <p>一方で、本サービスへの登録時に用いる JSON 形式のデータの文字コードは、「機能11：FHIR形式のデータ生成 ■ 文字コードおよび正規化方式に関する遵守事項」に示すとおり、UTF-8 となります。そのため、臨床情報・健診結果報告書の取得時の文字コードも UTF-8 とすることを強く推奨します。</p> <p>ただし、環境設定画面等において文字コード設定を変更した場合、本サービス由来のインターフェイスだけでなく、外部インターフェイス仕様に記載されたすべてのインターフェイスの結果ファイルに対して文字コード設定が反映されます。このため、文字コード設定を変更する際は他の医療機関等システム（レセプトコンピュータ等）に影響が及ぶ可能性があります。文字コードを変更する場合は、あらかじめ他システムへの影響について医療機関に確認しうえて、設定を変更してください。</p>						
39	検査・感染症における結果基準値のテキスト記載 (referenceRange.text)の文字コードの指定	referenceRange.textにおいて、Shift_JISに変換できないUnicodeの文字が記録されている場合、エラーとなる。 (外部IF仕様書「別紙11-1_Shift_JIS向け文字変換表」に該当するUnicodeの文字列は例外)	なし	-	※アドオンチェック一覧で示す予定 技術解説書に記載なし						
40	処方情報に内包されるEncounterリソースに対するバリデーションチェックの不備解消	文書中のMedicationRequest.contained:Encounter.meta.profileにおいて、FHIR仕様に準拠したプロファイルバージョンの指定をおこなった場合に、不要なアドオンチェックエラーが起こらないようにする。	あり	-	※アドオンチェック一覧で示す予定 技術解説書に記載なし						
41	プロファイルのサポートバージョン	令和8年度冬頃以降にサポートするバージョンは以下の通りとする。 CLINS-IG：1.13.0以降 健診：1.6.0以降	あり	-	技術解説書に記載なし						

e

e

e

e

e